

未来
発見。

『測る』が支える
未来の社会

JASIS
Japan Analytical & Scientific Instruments Show
2023

最先端科学・分析システム&ソリューション展

結果報告書

併 催

新技術説明会
JASIS トピックスセミナー

特別企画

JASIS スクエア

Web企画

JASIS WebExpo®

9/6^{WED} ▶ 8^{FRI}

AM10:00 ~ PM5:00

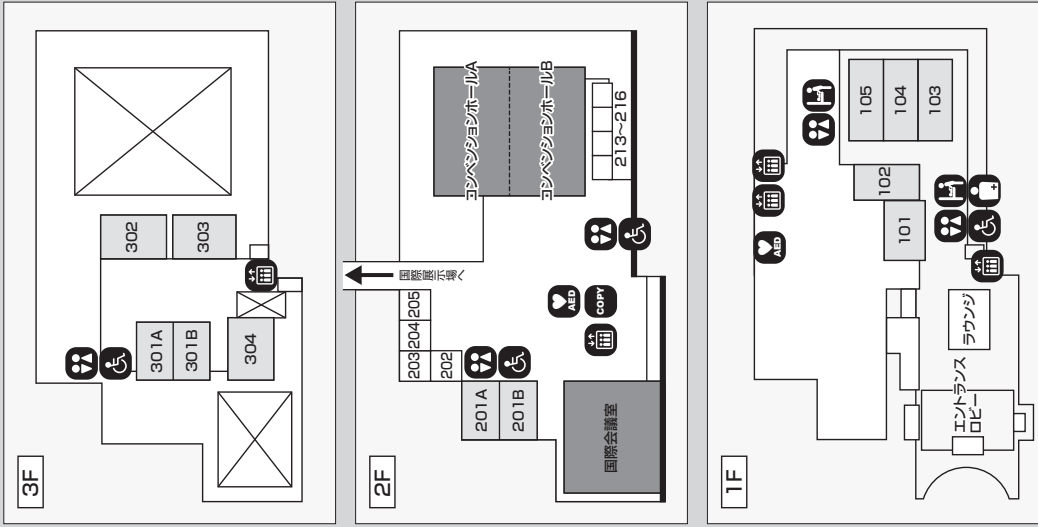
会場

幕張メッセ国際展示場

会場全体図

新技術説明会 / JASISトピックスセミナー

● 幕張メッセ・国際会議場



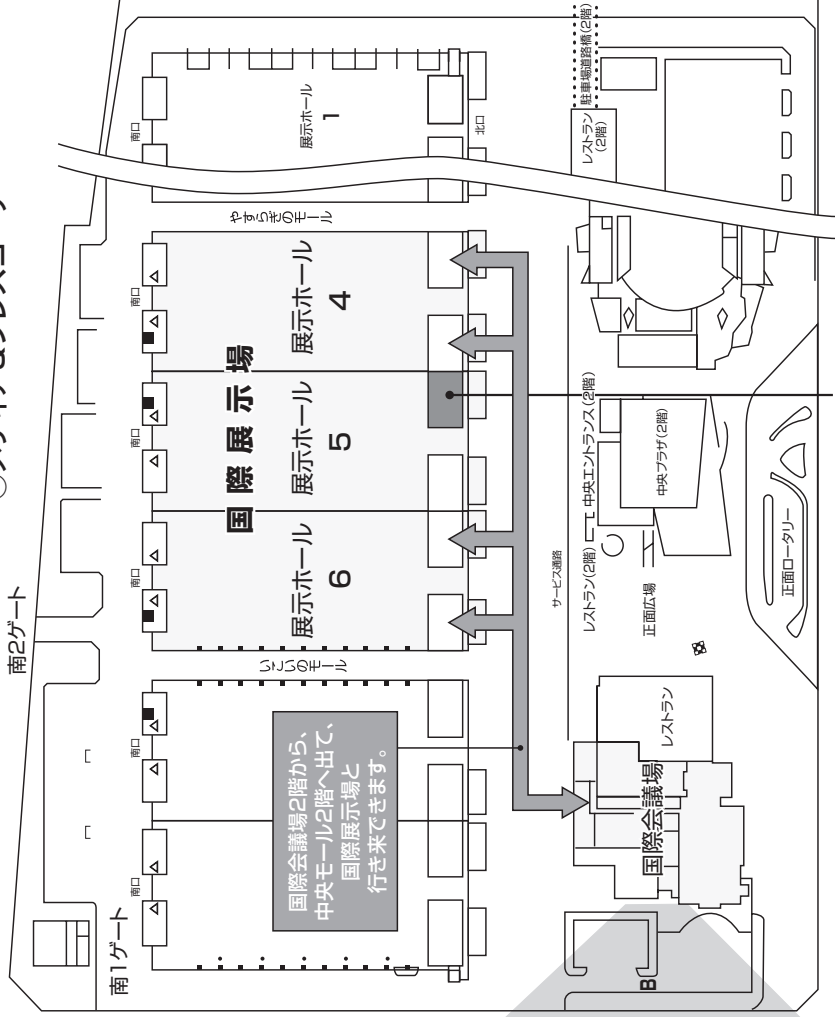
新技術説明会 会場

幕張メッセ 国際会議場 1F~3F

展示会場

● 幕張メッセ国際展示場 4~6ホール

- 一般展示
- mini/ソリューションコーナー
 - ・ mini/ソリューション展示コーナー
 - ・ mini/ソリューションカタログコーナー
- JASISスクエア
 - ・ 研究機関コーナー
 - ・ 学協会コーナー
 - ・ インターナショナルオーガナイゼーションエリア
 - ・ Lab DX 展示コーナー
 - メディア&プレスコーナー



本部事務局

トピックスセミナー 会場

幕張メッセ 国際会議場 コンベンションホール A/B、国際会議室

目次

	ページ
1. 開催要綱	1
2. 広報・PR 活動	3
3. 来場者数	4
4. 来場者プロフィール	6
5. 来場者アンケート	10
6. 展示規模	11
7. 出展社アンケート	12
8. 小間割り図	13
9. 出展社一覧	15
10. 新技術説明会	19
11. JASIS トピックスセミナー	27
12. JASIS スクエア	31
13. JASIS WebExpo® 2023	33



1. 開催要綱

1. 名称 JASIS 2023
2. 主催 一般社団法人日本分析機器工業会／一般社団法人日本科学機器協会
3. テーマ 「未来発見。」
4. メッセージ
「測る」が支える未来の社会
～ ゆたかな暮らし、産業・科学の発展を支えるとともに、さまざまな連携による
イノベーションの機会を創造していきます。未来に向かって… ～
5. 会期 2023年9月6日(水)～9月8日(金)
6. 開催時間 10時～17時
7. 出展社・機関数、出展小間数(詳細は p.11)
345社・機関 1,096小間(うち海外20社・機関 39小間／12ヶ国)
8. 総登録来場者数(詳細は p.4) 16,115人(うち海外より401名)
第1日目 6,593人
第2日目 5,441人
第3日目 4,081人
9. 会場
・幕張メッセ 国際展示場 4～6ホール
・幕張メッセ 国際会議場
10. 後援 経済産業省／文部科学省／国立研究開発法人科学技術振興機構／公益財団法人日本科学技術振興財団／国立研究開発法人理化学研究所／公益社団法人日本分析化学会／国立研究開発法人産業技術総合研究所／米国大使館 商務部
11. 協賛 公益社団法人高分子学会／公益社団法人石油学会／公益社団法人日本化学会／一般社団法人日本環境化学会／公益社団法人日本環境技術協会／一般社団法人日本計量機器工業連合会／公益社団法人化学工学会／一般社団法人日本試験機工業会／一般社団法人日本試薬協会／公益社団法人日本生物工学会／公益社団法人日本表面真空学会／公益社団法人日本分光学会／一般社団法人日本粉体工業技術協会／独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)／公益社団法人日本薬学会／日本薬科機器協会
12. 出展社展示内容
 - ①分析機器・装置
 - ②分析機器部品・コンポーネント
 - ③理化学機器
 - ④研究設備・器具・消耗品
 - ⑤環境計測機器・工業用計測機器
 - ⑥バイオ関連機器・装置
 - ⑦試験機器・装置
 - ⑧生産プロセス機器・装置
(電機・電子デバイス・エネルギー等関連装置)
 - ⑨情報関連ソフト・サービスその他

13. 展示場内企画

()※はJASIS 2022実績

- ・JASIS スクエア (詳細は p.30)
- ・mini /ソリューションコーナー：53 社 73 小間 (49 社 61 小間) ※
- ・研究機関コーナー：12 機関 16 小間 (9 機関 11 小間) ※
- ・学協会コーナー：5 社・機関 8 小間 (4 社・機関 6 小間) ※
- ・国際ショナルオーガナイゼーションエリア：6 社・機関 7 小間 (7 社・機関 7 小間) ※
- ・メディア&プレスコーナー：6 社 7 小間 (7 社 7 小間) ※

14. 新技術説明会 (出展社による最新機器・技術の紹介) (詳細は p.19)

- ・日時：2023 年 9 月 6 日 (水) ~ 9 月 8 日 (金)
- ・場所：幕張メッセ 国際会議場
- ・発表会社数/テーマ件数：69 社 / 261 テーマ (59 社 / 225 テーマ) ※
- ・聴講者延べ人数：9,884 名 (6,908 人) ※

16. JASIS トピックスセミナー (詳細は p.27)

- ・日時：2023 年 9 月 6 日 (水) ~ 9 月 8 日 (金)
- ・会場：幕張メッセ国際会議場 コンベンションホール A・B、国際会議室
- ・プログラム数：47 タイトル
- ・聴講者延べ人数：4,991 名 (2,654 人) ※

17. JASIS スクエア (詳細は p.30)

- ・日時：2023 年 9 月 6 日 (水) ~ 9 月 8 日 (金)
- ・場所：幕張メッセ国際展示場 5 ホール奥
- ・プログラム数：14 タイトル (13 タイトル) ※
- ・聴講者数延べ人数：576 人 (572 人) ※

18. 「科学・分析機器総覧」、「分析機器の手引き」の配布

- ・「科学・分析機器総覧 2024」(掲載社数：297 社、2,687 スペース)
配布数：6,000 (印刷版)、4,100 (DVD 版)
- ・機器分析の手引き 2023
配布数：900 (DVD)

19. JASIS WebExpo® 2023 (詳細は p.32)

- 【会期】 前期：2023 年 7 月 5 日 (水) 10 時 ~ 9 月 8 日 (金) … 66 日間
JASIS 2023：2023 年 9 月 9 日 (土) ~ 2023 年 11 月 30 日 (水) 17 時 … 83 日間
- コンテンツ：講演 99 タイトル、出展社 30 社、新技術説明会 12 社 19 タイトル
- 閲覧 ID 数 (ユニーク)：11,950
- 閲覧コンテンツ数 (延べ)：38,640

2. 広報・PR活動

以下のようなツールを用い、行政機関、研究所、大学などに対してPRを行った。

1. ポスター (製作部数: 和文 2,800 部 英文 200 部 繁体字 50 部 簡体字 50 部 韓国語 50 部)

2. 案内状 (製作部数: 350,000 部)

3. メールマガジン「JASIS 通信」(和文 60 回 / 2023 年 7 月 6 日～11 月 30 日、英文 3 回)

4. プレスリリース (6 回)

5. 広告

新聞: 食品化学新聞、化学工業日報、科学新聞、日刊工業新聞

学会誌・雑誌: ぶんせき、化学と工業、高分子、工業材料、月刊フードケミカル、
検査技術、計測技術、クリーンテクノロジー、光アライアンス、画像ラボ、
環境浄化技術、PHARM TECH、QMAIL

Web バナー広告: 日本分析化学会第 72 年会 HP、日経 xTECH

メルマガ広告: 日経 xTECH、日経エレクトロニクス・ニュースメール、日経ものづくり NEWS メール、
日経 Automotive News メール

6. 特集・記事

化学と工業、月刊フードケミカル、工業材料、日経産業新聞、科学新聞、日本計量新報

7. ホームページ等

年間を通じて JASIS オフィシャルサイト (<https://www.jasis.jp>) を開設し、日本語と英語での情報発信を行った。

主な掲載内容

- ・2023 年 1 月 出展申込受付、出展を希望される方への情報発信
- ・2023 年 3 月 出展社専用ページの開設
- ・2023 年 7 月 JASIS 2023 事前入場登録開始、出展社一覧・セミナー情報等
WebExpo 2023 (前期) 掲載情報の発信
- ・2023 年 8 月 WebExpo 2023 (JASIS 2023) 掲載情報の発信
- ・2023 年 9 月 JASIS 2023 結果概要

3. 来場者数

1. 来場者数のカウント方法

展示会場・国際会議場の入場口で来場者入場証のバーコードを読取ることで来場者数をカウントしている。「①重複なし来場者数」に加え、「②1日1カウントの来場者数(複数日来場した人数を含む)」を把握することが出来る。「②1日1カウントの来場者数」では、その日の混雑ぶりが数値として把握出来る。

2. 来場者数集計

JASIS 2023	天気	①重複なし来場者数					②1日1カウントの来場者数				
		JASIS 2023	JASIS 2022	JASIS 2021	JASIS 2020	JASIS 2019	JASIS 2023	JASIS 2022	JASIS 2021	JASIS 2020	JASIS 2019
9月6日(水)	晴れ	6,593	4,195	3,041	2,494	8,003	6,593	4,195	3,041	2,494	8,267
9月7日(木)	晴れ	5,441	4,032	2,724	2,412	7,560	6,739	4,860	3,224	2,792	9,640
9月8日(金)	雨	4,081	4,238	2,725	2,393	7,704	5,390	5,343	3,336	2,941	10,269
合計		16,115	12,465	8,490	7,299	23,409	18,722	14,398	9,601	8,227	28,176

(対前年比: 129.3%)

*JASIS2019の1日目の人数内訳: 8,125人+142人(前日)=8,267人

- ① 重複なし来場者数:
 - ・来場者入場証のみカウント
 - ・出展社入場証の数は含まれない
- ② 1日1カウントの来場者数:
 - ・複数日来場している来場者も含めた1日ごとの来場者数
 - ・同一来場者IDは1日1回だけカウント
 - ・最後の合計は3日間の延べ人数

3. 来場者の登録種別分類

- ① 事前登録: 事前にインターネットで登録。入場証を来場者ご自身で印刷、受付は通らず入場。(7月5日~9月8日)
- ② 当日登録(国内): 会場受付でスタッフが入力登録、入場証発行。
(海外): 来場者が自分で入力またはスタッフが入力登録、入場証発行。

	JASIS 2023					JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	9月6日	9月7日	9月8日	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
①事前登録	6,386	5,225	3,915	15,526	96.3%	11,752	94.3%	7,965	93.8%	6,899	94.5%	21,470	91.7%
②当日登録	207	216	166	589	3.7%	713	5.7%	525	6.2%	400	5.5%	1,939	8.3%
合計	6,593	5,441	4,081	16,115	100.0%	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%

4. JASIS 3日間の会場別来場者数比率の年度比較

	JASIS 2023			JASIS 2022			JASIS 2021			JASIS 2020			JASIS 2019		
	9月6日	9月7日	9月8日	9月7日	9月8日	9月9日	11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	9月4日	9月5日	9月6日
1) 展示会場のみに来場した人数	3,298	3,888	2,675	2,896	3,388	3,860	1,853	1,949	2,309	1,634	1,854	1,998	4,050	4,589	5,225
	50.0%	57.7%	49.6%	69.0%	69.7%	72.2%	60.8%	60.5%	69.2%	60.8%	60.4%	69.2%	49.8%	47.6%	50.9%
2) 新技術説明会またはトピックスセミナーを聴いて、展示会場にも行った人数	3,084	2,670	2,522	1,276	1,442	1,463	1,136	1,223	1,014	799	881	896	3,637	4,428	4,474
	46.8%	39.6%	46.8%	30.4%	29.7%	27.4%	37.5%	37.9%	30.4%	37.5%	38.0%	30.4%	44.8%	45.9%	43.6%
3) 新技術説明会を聴いて、展示会場には行かなかった人数	211	181	193	23	30	20	52	52	13	61	57	47	438	623	570
	3.2%	2.7%	3.6%	0.5%	0.6%	0.4%	1.7%	1.6%	0.4%	2.4%	2.0%	1.6%	5.4%	6.5%	5.6%
1日1カウントの来場者数	6,593	6,739	5,390	4,195	4,860	5,343	3,041	3,224	3,336	2,494	2,792	2,941	8,125	9,640	10,269
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

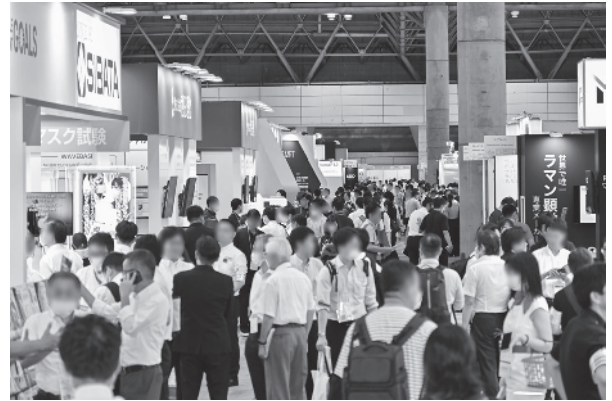
展示会場以外の各年度の来場者バーコード読取場所は下記のとおりで、2023年と2021年が同条件。ただし、3)の展示会場には行かなかった人数は2020年~2022年度とコロナ感染症対策の為に定員数を制限したこともあり、単純に年度比較をすることはできない。国際会議場をコンファレンスで全館使用した2019年と比較するのが良い。

JASIS 2023: 国際会議場 1F 階段下、国際会議場 1F 奥、国際会議場 2F 連絡通路 (アパホテルは使用せず)

JASIS 2022: アパホテル 2F 入口 (国際会議場は貸し切りでない為、カウントはなし)

JASIS 2021: 国際会議場 1F 階段下、国際会議場 1F 奥、国際会議場 2F 連絡通路 (アパホテルは使用せず)

JASIS 2020: アパホテル 2F 入口、ホテルニューオータニ 2F 入口 (国際会議場使用せず)
JASIS 2019: 国際会議場 1F、アパホテル 2F 入口、ホテルニューオータニ 2F 入口



4. 来場者プロフィール

全来場者 (16,115 人) の登録データをもとに、来場者プロフィールを集計した。当展示会来場者層の特徴は以下の 4 点であり、今年も広範囲のユーザー層に来場頂いたことがわかる。

- ・ 分析機器・科学機器ユーザー分類が 48.6% と多く、昨年より 3 ポイント以上増加した。
- ・ 勤務先所在地別集計では、関東甲信越からの来場者が 74.6% と昨年に比べ 6 ポイント減少、近畿からの来場比率も激減、他の地域からの来場者割合はそれぞれ増加した。
- ・ 業種別では偏りが少なく、幅広い業種から来場いただいている。その中で次の業種については、約 5% ~ 10% と比較的多い割合を占める。

「官公庁・公的機関」、「分析技術サービス (分析・試験・検査)」、「電子・電機・精密機器」、「化学製品 (インク・塗料・農薬・香料等)」、「製薬・試薬・化粧品」、「商社・商業」

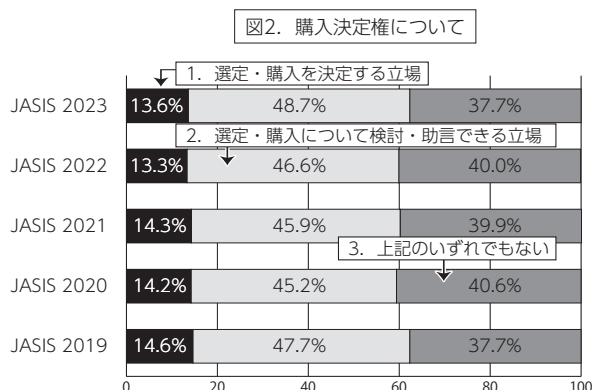
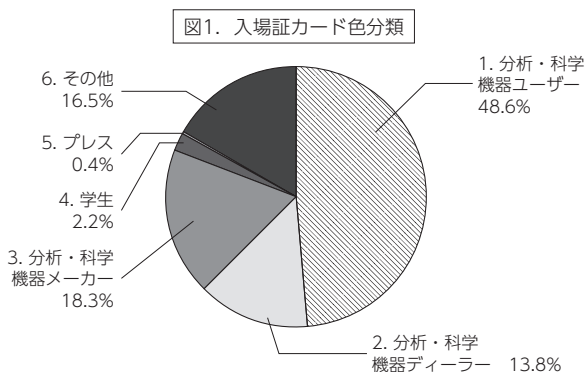
- ・ 職種別では、「研究・開発」25.5%、「分析・試験・検査・測定」18.2%、「生産・製造・品質管理」7.7%、「営業」24.6%、が主だったところである。

1. 登録来場者の入場証カード色分類 (図 1 参照)

	JASIS 2023					JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	9月6日	9月7日	9月8日	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 分析・科学機器ユーザー	3,123	2,515	2,201	7,839	48.6%	5,633	45.2%	3,671	43.2%	3,179	43.6%	12,114	51.7%
2. 分析・科学機器ディーラー	949	743	536	2,228	13.8%	1,623	13.0%	1,201	14.1%	897	12.3%	2,705	11.6%
3. 分析・科学機器メーカー	1,272	1,041	640	2,953	18.3%	2,591	20.8%	1,667	19.6%	1,433	19.6%	4,045	17.3%
4. 学生	125	150	87	362	2.2%	272	2.2%	192	2.3%	128	1.8%	578	2.5%
5. プレス	38	23	9	70	0.4%	64	0.5%	75	0.9%	51	0.7%	92	0.4%
6. その他	1,086	969	608	2,663	16.5%	2,282	18.3%	1,684	19.8%	1,611	22.1%	3,875	16.6%
合計	6,593	5,441	4,081	16,115	100.0%	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%

2. 購入決定権について (図 2 参照)

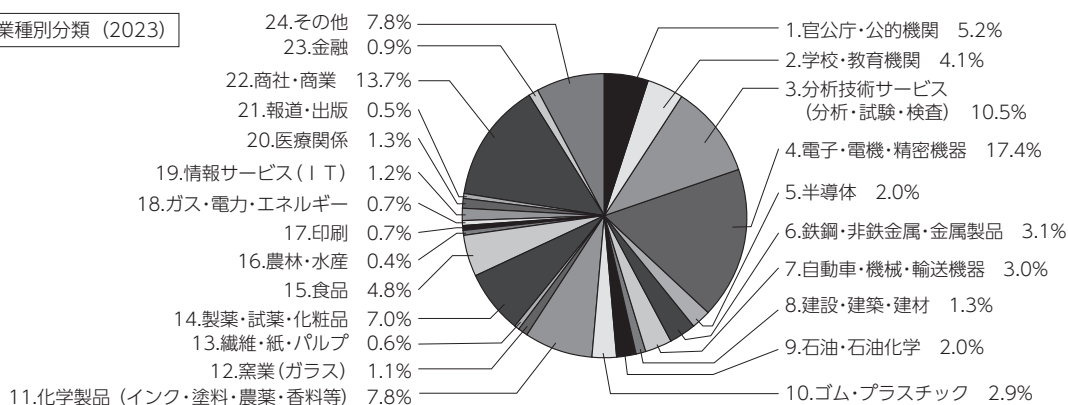
	JASIS 2023		JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	回答人数	比率	回答人数	比率	回答人数	比率	回答人数	比率	回答人数	比率
1. 選定・購入を決定する立場	2,195	13.6%	1,664	13.3%	1,210	14.3%	1,040	14.2%	3,420	14.6%
2. 選定・購入について検討・助言できる立場	7,848	48.7%	5,809	46.6%	3,895	45.9%	3,298	45.2%	11,162	47.7%
3. 上記のいずれでもない	6,072	37.7%	4,992	40.0%	3,385	39.9%	2,961	40.6%	8,827	37.7%
合計	16,115	100.0%	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%



5. 業種別分類

	JASIS 2023		JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1.官公庁・公的機関	841	5.2%	740	5.9%	546	6.4%	590	8.1%	1,493	6.4%
2.学校・教育機関	657	4.1%	539	4.3%	356	4.2%	288	3.9%	1,176	5.0%
3.分析技術サービス(分析・試験・検査)	1,696	10.5%	1,131	9.1%	810	9.5%	637	8.7%	2,244	9.6%
4.電子・電機・精密機器	2,799	17.4%	2,436	19.5%	1,454	17.1%	1,270	17.4%	4,069	17.4%
5.半導体	326	2.0%	200	1.6%	108	1.3%	121	1.7%	417	1.8%
6.鉄鋼・非鉄金属・金属製品	502	3.1%	393	3.2%	236	2.8%	178	2.4%	765	3.3%
7.自動車・機械・輸送機器	482	3.0%	321	2.6%	210	2.5%	140	1.9%	628	2.7%
8.建設・建築・建材	217	1.3%	188	1.5%	140	1.6%	155	2.1%	349	1.5%
9.石油・石油化学	318	2.0%	206	1.7%	110	1.3%	132	1.8%	459	2.0%
10.ゴム・プラスチック	467	2.9%	370	3.0%	219	2.6%	195	2.7%	706	3.0%
11.化学製品(インク・塗料・農薬・香料等)	1,265	7.8%	903	7.2%	587	6.9%	463	6.3%	1,835	7.8%
12.窯業(ガラス)	170	1.1%	145	1.2%	79	0.9%	76	1.0%	224	1.0%
13.繊維・紙・パルプ	99	0.6%	97	0.8%	63	0.7%	70	1.0%	133	0.6%
14.製薬・試薬・化粧品	1,131	7.0%	744	6.0%	435	5.1%	391	5.4%	1,598	6.8%
15.食品	777	4.8%	576	4.6%	387	4.6%	325	4.5%	1,242	5.3%
16.農林・水産	72	0.4%	36	0.3%	36	0.4%	27	0.4%	58	0.2%
17.印刷	106	0.7%	95	0.8%	67	0.8%	73	1.0%	206	0.9%
18.ガス・電力・エネルギー	115	0.7%	95	0.8%	58	0.7%	46	0.6%	164	0.7%
19.情報サービス(IT)	187	1.2%	161	1.3%	149	1.8%	122	1.7%	284	1.2%
20.医療関係	207	1.3%	156	1.3%	113	1.3%	93	1.3%	346	1.5%
21.報道・出版	79	0.5%	72	0.6%	79	0.9%	58	0.8%	95	0.4%
22.商社・商業	2,203	13.7%	1,699	13.6%	1,327	15.6%	1,058	14.5%	2,803	12.0%
23.金融	150	0.9%	142	1.1%	120	1.4%	104	1.4%	205	0.9%
24.その他	1,249	7.8%	1,020	8.2%	801	9.4%	687	9.4%	1,910	8.2%
合計	16,115	100.0%	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%

図3. 業種別分類 (2023)



6. 職種別分類

	JASIS 2023		JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1.研究・開発(官・学)	847	5.3%	698	5.6%	479	5.6%	452	6.2%	1,591	6.8%
2.研究・開発(民間)	3,261	20.2%	2,445	19.6%	1,408	16.6%	1,226	16.8%	4,964	21.2%
3.教育	108	0.7%	90	0.7%	63	0.7%	58	0.8%	207	0.9%
4.学生	347	2.2%	256	2.1%	186	2.2%	123	1.7%	551	2.4%
5.技術・設計	883	5.5%	706	5.7%	436	5.1%	300	4.1%	1,318	5.6%
6.生産・製造・品質管理	1,233	7.7%	765	6.1%	498	5.9%	475	6.5%	1,774	7.6%
7.資材・購買	127	0.8%	101	0.8%	70	0.8%	64	0.9%	235	1.0%
8.分析・試験・検査・測定	2,931	18.2%	2,003	16.1%	1,335	15.7%	1,116	15.3%	4,209	18.0%
9.経営・管理	835	5.2%	701	5.6%	479	5.6%	416	5.7%	1,183	5.1%
10.営業	3,965	24.6%	3,313	26.6%	2,454	28.9%	2,101	28.8%	4,837	20.7%
11.企画・調査・広報	730	4.5%	703	5.6%	546	6.4%	513	7.0%	1,130	4.8%
12.メンテナンス・修理	173	1.1%	155	1.2%	102	1.2%	59	0.8%	232	1.0%
13.その他	675	4.2%	529	4.2%	434	5.1%	396	5.4%	1,178	5.0%
合計	16,115	100.0%	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%

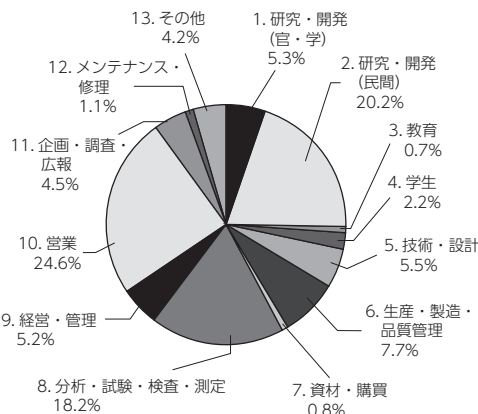


図4. 職種別分類 (2023)

7. 来場目的別分類 (複数回答)

・セミナーの構成が変わった 2021 年度に「来場目的」の質問を変更した。

3. 出展社の資料を入手 (2021 年から新設) 4. 新技術説明会 (企業発表) 5. 新技術説明会 (企業発表) 以外のセミナー

	JASIS 2023		JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 分析機器/科学機器の購入検討 (長期・短期)	4,900	39.3%	3,560	28.6%	2,462	29.0%	2,073	28.4%	7,359	31.4%
2. 分析機器/科学機器業界の技術トレンド・市場動向調査	11,080	88.9%	8,418	67.5%	5,629	66.3%	4,851	66.5%	14,833	63.4%
3. 出展社の資料を入手	5,228	41.9%	3,859	31.0%	2,857	33.7%	-	-	-	-
4. 新技術説明会 (企業発表)	4,508	36.2%	3,138	25.2%	1,995	23.5%	2,190	30.0%	7,303	31.2%
5. 新技術説明会 (企業発表) 以外のセミナー	2,759	22.1%	1,780	14.3%	1,020	12.0%	452	6.2%	4,094	17.5%
6. ビジネスパートナー開拓	2,007	16.1%	1,598	12.8%	1,083	12.8%	1,106	15.2%	2,264	9.7%
7. [分析・科学機器メーカーの方へ] 競合他社の情報収集	1,662	13.3%	1,406	11.3%	986	11.6%	1,075	14.7%	2,996	12.8%
8. [分析・科学機器メーカーの方へ] 機器設計のための情報収集	1,039	8.3%	746	6.0%	551	6.5%	582	8.0%	1,717	7.3%
9. 出展者・展示要員・展示説明員	1,371	11.0%	1,275	10.2%	716	8.4%	701	9.6%	2,179	9.3%
10. その他	1,161	9.3%	943	7.6%	729	8.6%	717	9.8%	2,191	9.4%

比率は 2023 年度は 16,115 人、2022 年度は 12,465 人、2021 年度は 8,490 人、2020 年度は 7,299 人、2019 年度は 23,409 人を 100 としてそれぞれの回答の比率を算出した。

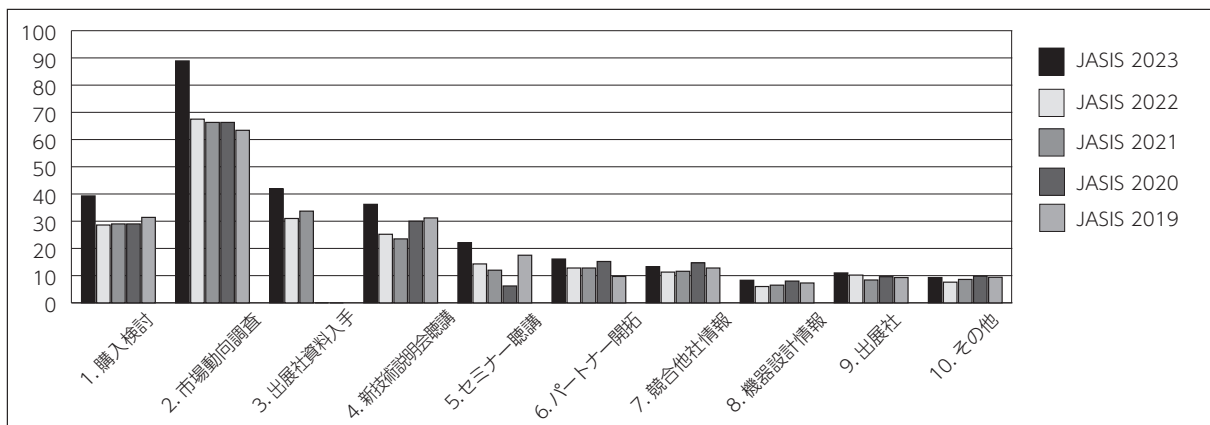


図5. 来場目的別分類 (5か年比較)

8. JASIS には初めての来場ですか?

	JASIS 2023		JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 初めての来場	6,002	37.2%	4,368	35.0%	2,786	32.8%	2,247	30.8%	8,531	36.4%
2. 過去 JASIS に来場したことがある	10,113	62.8%	8,097	65.0%	5,704	67.2%	5,052	69.2%	14,878	63.6%
合計	16,115	100.0%	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%

9. 来場者の年代 (図 6 参照)

	JASIS 2023		JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
18歳以下	9	0.1%	8	0.1%	4	0.0%	5	0.1%	17	0.1%
19歳から 29歳	3,437	21.3%	2,499	20.0%	1,610	19.0%	1,353	18.5%	4,376	18.7%
30歳から 39歳	3,715	23.1%	2,670	21.4%	1,819	21.4%	1,516	20.8%	5,463	23.3%
40歳から 49歳	3,846	23.9%	3,107	24.9%	2,073	24.4%	1,874	25.7%	6,012	25.7%
50歳から 59歳	3,273	20.3%	2,649	21.3%	1,826	21.5%	1,589	21.8%	4,729	20.2%
60歳から 69歳	1,317	8.2%	1,120	9.0%	805	9.5%	677	9.3%	1,883	8.0%
70歳以上	313	1.9%	263	2.1%	211	2.5%	199	2.7%	432	1.8%
未回答	205	1.3%	149	1.2%	142	1.7%	86	1.2%	497	2.1%
合計	16,115	100.0%	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%

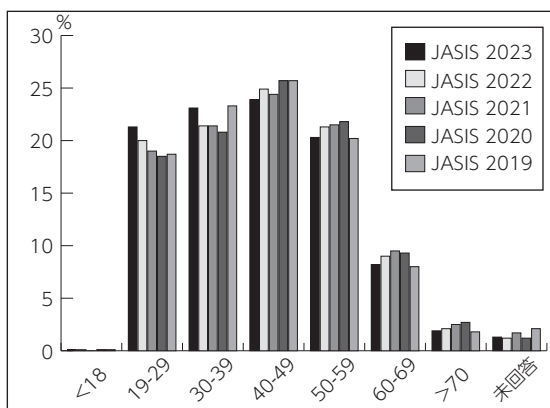


図6. 来場者の年代分布 (5か年比較)

10. 海外来場者 国別内訳

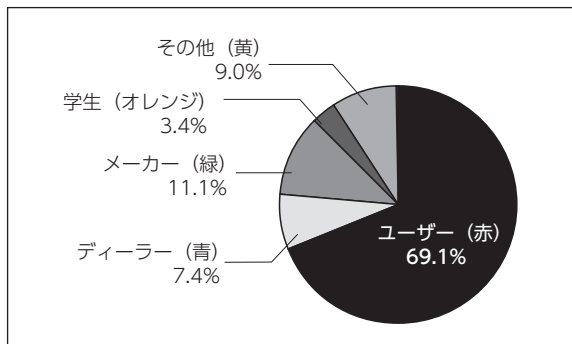
JASIS 2023		JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
国名	人数	国名	人数	国名	人数	国名	人数	国名	人数
韓国	147	韓国	27	アメリカ	1	アメリカ	2	中国	124
台湾	75	台湾	10	オーストラリア	1	インド	1	韓国	118
中国	58	アメリカ	7			台湾	1	台湾	73
タイ	14	インド	3			インドネシア	1	ベトナム	30
アメリカ	12	パキスタン	3			フィリピン	1	タイ	27
インドネシア	11	ウズベキスタン	3					アメリカ	21
ドイツ	10	カナダ	2					シンガポール	16
シンガポール	9	インドネシア	2					インド	11
インド	8	マレーシア	2					ドイツ	10
マレーシア	7	サウジアラビア	2					英国	9
オーストラリア	6	シンガポール	2					ロシア	8
ベトナム	6	スイス	2					香港	6
その他	38	その他	8					バングラディシュ	6
								その他	60
合計	401	合計	73		2		6	合計	519

その他の国名 (アプハジア、アラブ首長国連邦、イタリア、オランダ、カザフスタン、カナダ、スイス、スペイン、チェコ、ニュージーランド、ハンガリー、フィリピン、フランス、ベトナム、ベルギー、ポーランド、モンゴル、ヨルダン、英国、香港)

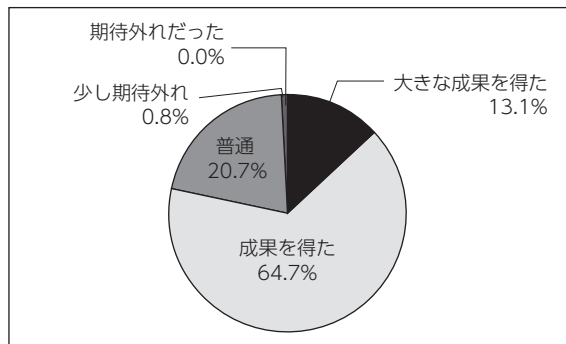
5. 来場者アンケート

JASIS 2023 来場者のニーズや傾向を把握するためにアンケートを実施した。JASIS 会期中 9月6日～9月8日の3日間、展示会場 5 ホール奥のアンケートコーナーで紙への記入式で実施し、来場者 3,371 名から回答いただいた。

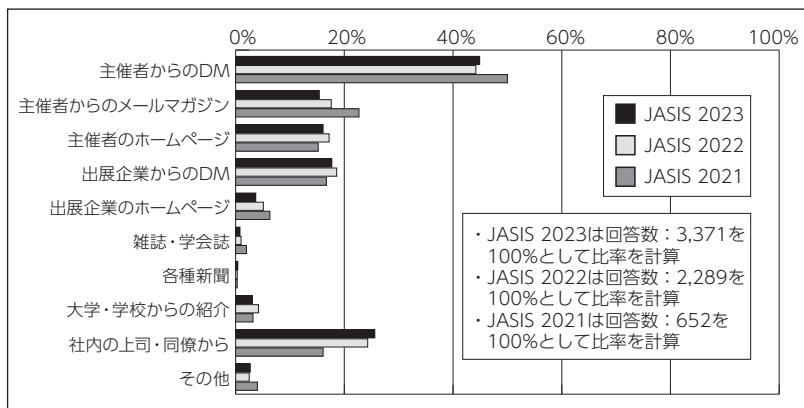
1. アンケート回答者の入場カード色区分



2. JASIS 全体のご感想



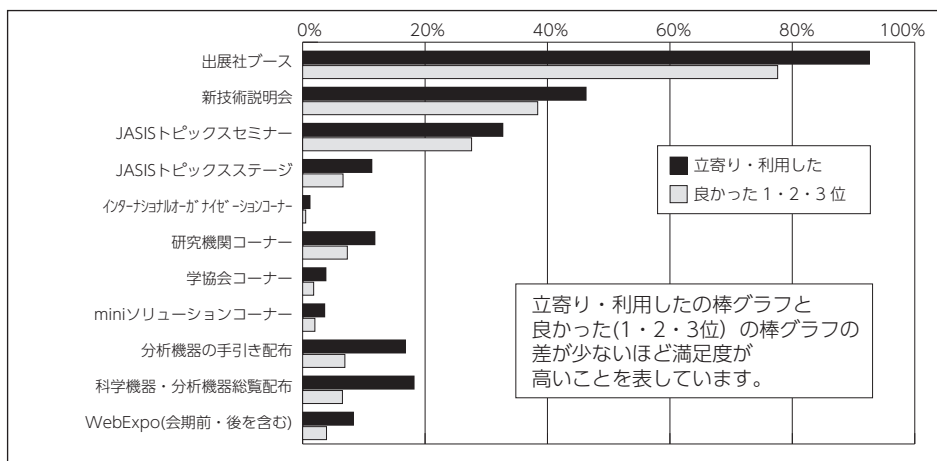
3. この展示会をどこから知りましたか (複数回答)



4. 各イベントの満足度

JASIS 2023 のイベントで立ち寄られた所 (立ち寄られる予定の所)、又は利用された所 (利用される予定の所) を複数回答でチェックしていただいた。

次に、チェックされたイベントの内、特に良かったイベントを最大3つまでを回答いただいた。立寄り・利用したの棒グラフと良かった(1・2・3位)の棒グラフの差が少ないほど満足度が高いことを表している。



6. 展示規模

2023年の展示規模は、345社1,096小間となり、昨年と比較して23社114小間となり、幕張メッセの3つのホールを使用しての開催となった。

全1,096小間のうち、3m×3mサイズのブースに製品を展示する一般展示が981小間となり全体の89.5%を占め、115小間(10.5%)が、mini/ソリューション、研究機関、学協会などの出展コーナーであった。

全出展社345社・機関中、主催者(日本分析機器工業会もしくは日本科学機器協会)会員企業は196社(56.8%)、会員外の出展は149社(43.2%)であり会員以外の出展にも広く門戸を開いている。海外からの出展は20社だった。

・出展種別内訳

	小間数					会社数				
	JASIS 2023	昨年比	JASIS 2022	JASIS 2021	JASIS 2020	JASIS 2023	昨年比	JASIS 2022	JASIS 2021	JASIS 2020
JAIMA / JSIA 会員	869	111.60%	779	724	817	196	105.4%	186	165	175
ゲスト(国内)	69	87.50%	80	61	73	54	108.3%	48	41	41
ゲスト(海外)	32	310.00%	10	4	7	14	185.7%	7	3	4
その他(国内)	11	52.40%	21	12	12	2	33.3%	6	5	6
一般展示 小計	981	110.20%	890	801	909	263	106.5%	247	214	226
mini/ソリューションコーナー	73	119.70%	61	41	34	53	108.2%	49	32	26
研究機関、学協会、メディア&プレスコーナー他	42	135.50%	31	30	28	32	123.1%	26	24	24
合計	1096	111.60%	982	872	971	345	107.1%	322	270	276

・海外出展社内訳

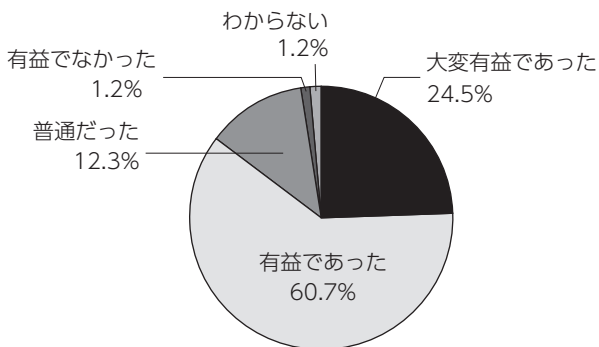
	海外出展者数小間数/国数			
	JASIS 2023	JASIS 2022	JASIS 2021	JASIS 2020
一般展示	14社32小間/12か国	8社11小間/7か国	3社4小間/3か国	4社7小間/4か国
mini/ソリューションコーナー	2社3小間/2か国	1社1小間/1か国	1社1小間/1か国	-
国際ナショナルオーガナイゼーションエリア	4社4小間/1か国	5社5小間/1か国	7社9小間/2か国	6社6小間/2か国
メディア&プレスコーナー	-	-	-	1社1小間/1か国
計	20社39小間/12か国	14社17小間/7か国	11社14小間/5か国	11社14小間/6か国



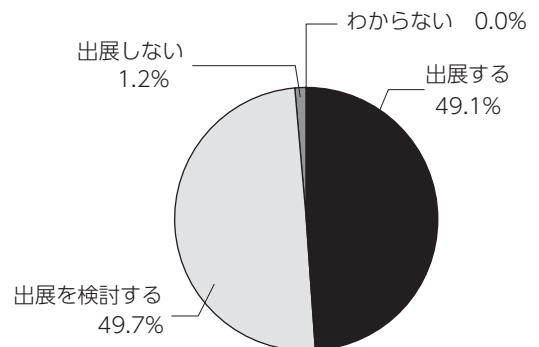
7. 出展社アンケート

会期後に、全出展社の日本国内の担当者 325 社に対してアンケートを行い、163 社から回答を得た（回収率 50.1%）。出展社満足度は「大変有益であった」もしくは「有益であった」という回答が 85.2%となり、出展の成果としては、「具体的な成果を得られた」との回答も 55.2%となった。いずれも、コロナ禍前の 2019 年を上回る高評価であった。次年度の出展予定に対しては 98.8%が「出展する」もしくは「出展を検討する」と回答をいただき、JASIS 開催への期待は引き続き大きいことが分かった。以下はアンケートの抜粋。

1. JASIS 2023 への出展は有益でしたか？



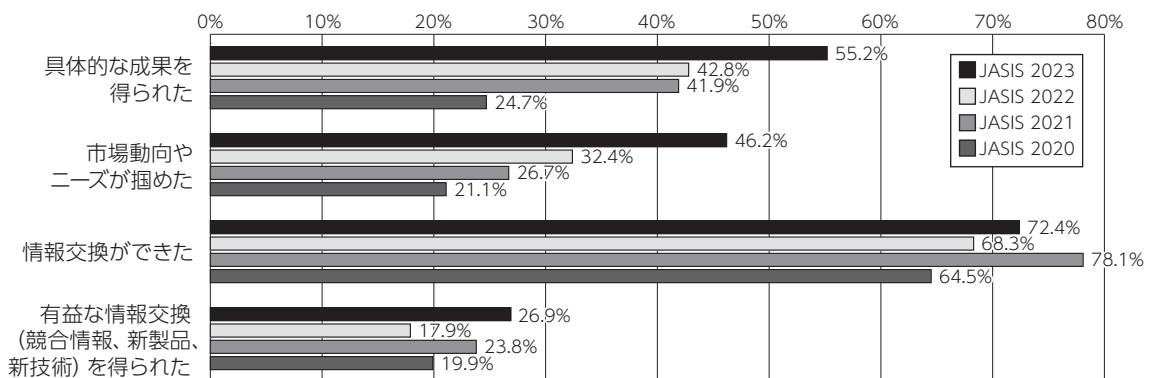
2. 2024 年は出展しますか

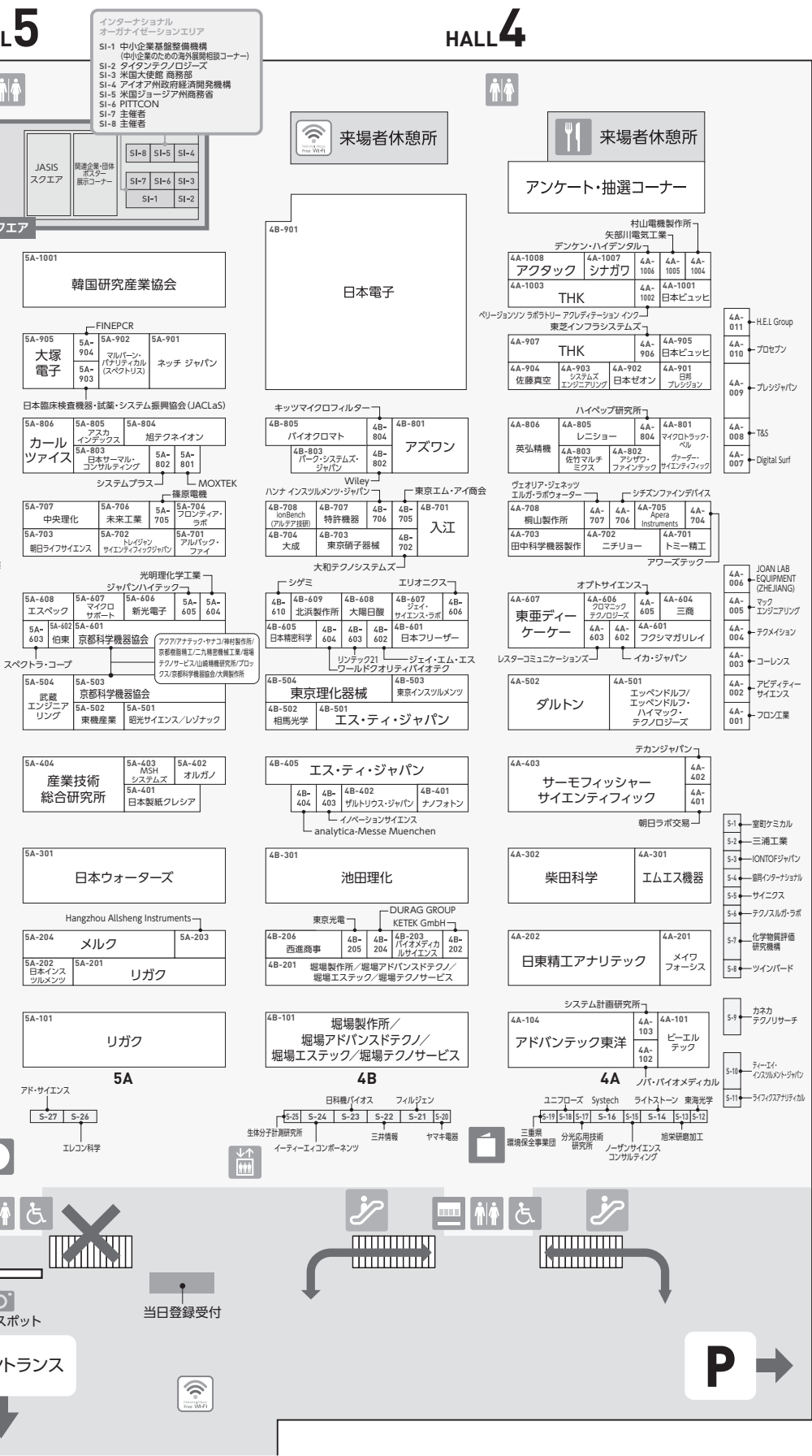


3. 出展の成果（複数回答可）

	JASIS 2023		JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020	
1 具体的な成果を得られた	80 名	55.2%	62 名	42.8%	44 名	41.9%	41 名	24.7%
2 市場動向やニーズが掴めた	67 名	46.2%	47 名	32.4%	28 名	26.7%	35 名	21.1%
3 情報交換ができた	105 名	72.4%	99 名	68.3%	82 名	78.1%	107 名	64.5%
4 有益な情報交換（競合情報、新製品、新技術）を得られた	39 名	26.9%	26 名	17.9%	25 名	23.8%	33 名	19.9%
5 その他	7 名	4.8%	9 名	6.2%				

※2023年は163社、2022年は145社、2021年は105社、2020年は166社を100%として比率を計算





- 休憩所
- 弁当 (10:00~売り切れまで)
- キッチンカー
- 自動販売機
- トイレ
- 身障者用トイレ
- インフォメーション
- 会場案内図/総覧
- Wi-Fiエリア
- エスカレーター
- エレベーター

9. 出展社一覧

■一般展示

あ

アイスティサイエンス	6B-604
IBS	5B-403
アクア	5A-503, 5A-601
アクタック	4A-1008
旭テクネイオン	5A-804
朝日ライフサイエンス	5A-703
朝日ラボ交易	4A-401
アシザワ・ファインテック	4A-802
アジレント・テクノロジー	6B-101, 6B-201
アスカインデックス	5A-805
アズワン	4B-801
アドバンテック東洋	4A-104
Admesy Japan	6A-806
アナテック・ヤナコ	5A-503, 5A-601
analytica-Messe Muenchen	4B-404
アナリティクイエナ ジャパン	6A-805
アビディティーサイエンス	4A-002
Apera Instruments	4A-705
アメテック	6B-504
アラム	6A-605
アルバック・ファイ	5A-701
アワーズテック	4A-704
アントンパール・ジャパン	6B-603
安立計器	5B-607
iASYS Technology Solutions	6B-304
イアス	6A-802
ionBench(アルテア技研)	4B-708
イカ・ジャパン	4A-602
池上精機	6A-809
池田理化	4B-301
イチネン製作所	5B-604
イノベーションサイエンス	4B-403
入江	4B-701
インフィコン	6A-702
ヴァーダー・サイエンティフィック	4A-801
ヴェオリア・ジェネッツ エルガ・ラボウォーター	4A-707
エアートック	6B-501
英弘精機	4A-806
H.E.L Group	4A-011
エイビス	6B-203
エス・ティ・ジャパン	4B-405, 4B-501
エスペック	5A-608

エッペンドルフ	4A-501
エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ	4A-501
エドワーズ	6A-803
エヌエスピー	5B-402
荏原製作所	5B-806
エビデント	6B-601
MSHシステムズ	5A-403
エムエス機器	4A-301
エリオニクス	4B-606
エレメンター・ジャパン	5B-602
Elemental Scientific	6B-302
大阪真空機器製作所	5B-704
大阪ソーダ	5B-703
大塚電子	5A-905
岡野製作所	6B-502
オカムラ	6A-905
オキサイド	5B-707
オックスフォード・インストゥルメンツ	5B-304
オプトサイエンス	4A-605
オルガノ	5A-402

か

カールツァイス	5A-806
ガステック	6A-401
カノマックスアナリティカル	5B-805
神村製作所	5A-503, 5A-601
韓国研究産業協会	5A-1001
北浜製作所	4B-609
キットマイクロフィルター	4B-804
キャニオン	5B-608
京都科学機器協会	5A-503, 5A-601
京都樹脂精工	5A-503, 5A-601
京都電子工業	6B-401
共立理化学研究所	5B-605
協和界面科学	5B-709
桐山製作所	4A-708
久保田商事	5B-801
Glass Expansion	6A-801
クロマテクノロジージャパン	5B-506
クロマニックテクノロジーズ	4A-606
ケー・エヌ・エフ・ジャパン	6A-606
ケイエルブイ	5B-708
ケツト科学研究所	6A-403
KETEK GmbH	4B-202
ケニス	5B-502

ゲルハルトジャパン	5B-706	相馬光学	4B-502
コーレンス	4A-003	た	
工苑	6A-405	大興製作所	5A-503, 5A-601
光明理化学工業	5A-604	大成	4B-704
コクゴ	5B-606	タイテック	5B-609
コフロック	6B-402	大同工業所	6B-607
さ		大日本精機	5B-901
サーモフィッシャーサイエンティフィック	4A-403	大陽日酸	4B-608
SCIEX	6A-607	大和テクノシステムズ	4B-702
佐竹マルチミクス	4A-803	竹田理化学工業	6A-704
佐藤真空	4A-904	田中科学機器製作	4A-703
ザルトリウス・ジャパン	4B-402	タナカ・トレーディング	6A-902
産業技術総合研究所	5A-404	ダルトン	4A-502
三商	4A-604	中央理化	5A-707
三洋貿易	6A-804	T&S	4A-008
CEM Japan	5B-301	THK	4A-907, 4A-1003
ジーエルサイエンス	6A-1001	テカンジャパン	4A-402
GTRテック	6B-606	テクメーション	4A-004
GVSジャパン	6A-602	Digital Surf	4A-007
ジェー・イー・ウーラム・ジャパン	5B-603	DURAG GROUP	4B-204
JFEテクノリサーチ	6A-807	輝達商事	6B-403
ジェイ・エム・エス	4B-602	デンケン・ハイデンタル	4A-1006
ジェイ・サイエンス・ラボ	4B-607	トーマス科学器械	5B-303
Sheng Yi Tech & Analytics	5B-601	東亜ディーケーケー	4A-607
シゲミ	4B-610	東機産業	5A-502
システム・インスツルメンツ	6A-703	東京インスツルメンツ	4B-503
システム計画研究所	4A-103	東京エム・アイ商会	4B-705
システムズエンジニアリング	4A-903	東京硝子器械	4B-703
システムプラス	5A-802	東京技術研究所	6B-305
シチズンファインデバイス	4A-706	東京光電	4B-205
シナガワ	4A-1007	東京理化学器械	4B-504
篠原電機	5A-705	東芝インフラシステムズ	4A-906
柴田科学	4A-302	東ソー	5B-701
島津製作所	6B-701	特許機器	4B-707
ジャスコインタナショナル	5B-101, 5B-201	トミー精工	4A-701
ジャスコエンジニアリング	5B-101, 5B-201	富山産業	6A-601
ジャパンハイテック	5A-605	トレイジャンサイエンティフィックジャパン	5A-702
ジャパンマシナリー	6A-407	な	
JOAN LAB EQUIPMENT (ZHEJIANG)	4A-006	中村科学器械工業	5B-702
昭光サイエンス	5A-501	中山商事/三啓	5B-507
新光電子	5A-606	名古屋科学機器	6B-502
新東科学	5B-505	ナノフォトン	4B-401
スクラム	6A-804	西川計測	6B-202
スペクトラ・コープ	5A-603	ニチリョー	4A-702
SMILEco計測	6A-903	日東精工アナリティック	4A-202
住化分析センター	5B-902	日邦プレジジョン	4A-901
西進商事	4B-206	日本インスツルメンツ	5A-202

日本製紙クレシア	5A-401	フロン工業	4A-001
日本ゼオン	4A-902	フロンティア・ラボ	5A-704
日本インテグリス	5B-803	ペリージョンソノラボラトリー アクレディテーション インク	4A-1002
日本ウォーターズ	5A-301	堀場製作所, 堀場アドバンスドテクノ, 堀場エステック, 堀場テクノサービス	4B-101, 4B-201
日本サーマル・コンサルティング	5A-803	堀場テクノサービス	5A-503, 5A-601
日本精密科学	4B-605	ま	
日本電子	4B-901	マイクロエミッション	6A-303
日本ビュッヒ	4A-905, 4A-1001	マイクロサポート	5A-607
日本フリーザー	4B-601	マイクロテック・ニチオン	5B-705
日本分光	5B-101, 5B-201	マイクロトラック・ベル	4A-801
日本分析工業	5B-404	マイルストーンゼネラル	6B-303
日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会(JACLaS)	5A-903	マックエンジニアリング	4A-005
日本レーザー	6A-406	マルエム	5B-804
ニューメタルス エンド ケミカルス コーポレーション	5B-503	マルバーン・パナリティカル(スペクトリス)	5A-902
ネッチ ジャパン	5A-901	未来工業	5A-706
ノバ・バイオメディカル	4A-102	武蔵エンジニアリング	5A-504
は		村山電機製作所	4A-1004
PerkinElmer Japan	5B-401	メイワフォーシス	4A-201
パーク・システムズ・ジャパン	4B-803	メトラー・トレド	6B-301
バイオクロマト	4B-805	メトロームジャパン	6A-501
バイオテック	5B-610	メルク	5A-204
バイオメディカルサイエンス	4B-203	MOXTEK	5A-801
ハイベップ研究所	4A-804	文部科学省共用事業	5B-802
ハガタ屋	6B-602	や	
伯東	5A-602	安井器械	6B-605
浜松ホトニクス	6B-404	矢部川電気工業	4A-1005
ハリオサイエンス	6A-502	山崎精機研究所	5A-503, 5A-601
ハルツォク・ジャパン	5B-501	ユラボジャパン	6A-304
Hangzhou Allsheng Instruments	5A-203	横河電機	5B-302
ハンナ インストルメンツ・ジャパン	4B-706	ら	
ビー・エー・エス	6A-402	ライカマイクロシステムズ	6A-603
PHC	6A-404	リガク	5A-101, 5A-201
ビーエルテック	4A-101	理研計器	5B-504
ピークサイエンティフィックジャパン	6A-701	リンテック21	4B-603
ビートセンシング	6A-403	ルドルフ・リサーチ・アナリティカル・ジャパン	6A-808
ビジョンリンク	6B-302	LECOジャパン	6A-302
日立ハイテック	6A-101, 6A-201, 6A-301	レスターコミュニケーションズ	4A-603
VICI AG International	6B-503	Restek	6A-604
HIRANUMA	6A-101, 6A-201, 6A-301	レゾナック	5A-501
平山製作所	6B-204	レニショー	4A-805
FINEPCR	5A-904	わ	
フクシマガリレイ	4A-601	ワールドクオリティバイオテック	4B-604
フジキン	6A-901	ワイエムシィ	6A-904
二九精密機械工業	5A-503, 5A-601	Wiley	4B-802
ブルカージャパン	5B-903	■ mini/ ソリューション展示コーナー	
プレシジャパン	4A-009	アイ・アール・システム	S-33
プロセブン	4A-010	ASICON	S-39
プロックス	5A-503, 5A-601		

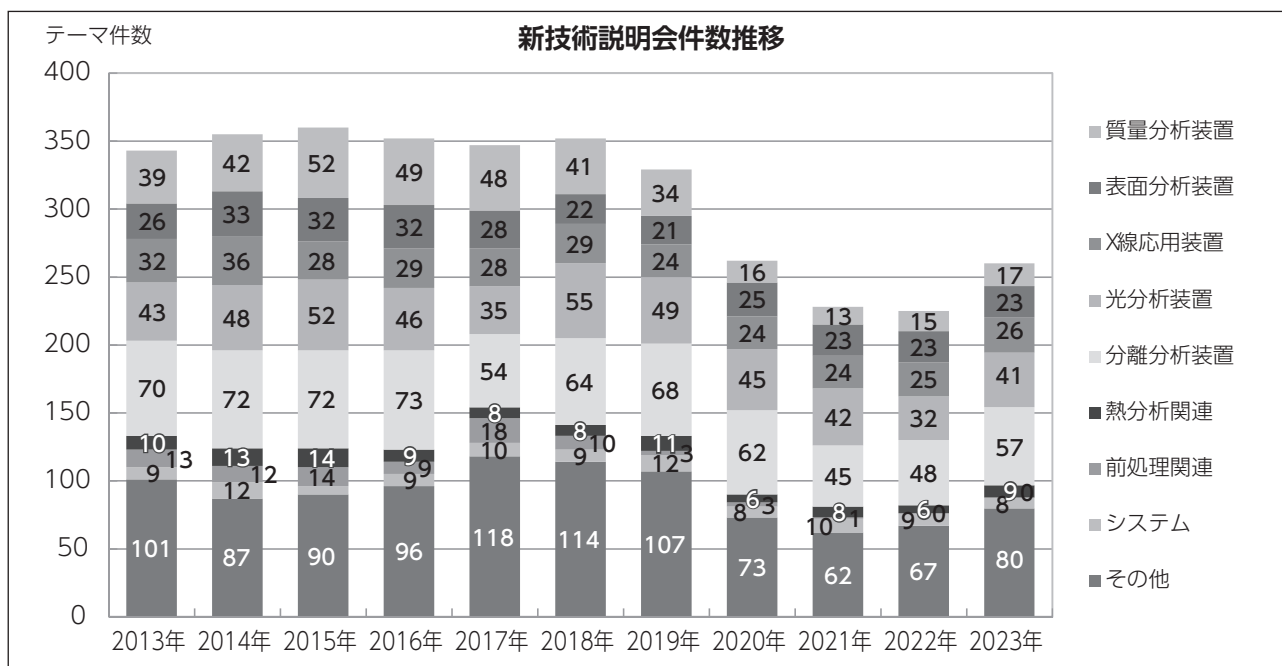
アド・サイエンス	S-27	ライトストーン	S-14
アルファ・モス・ジャパン	S-32	ライフィクスアナリティカル	S-11
ANVOS Analytics	S-48		
イーティーエィコンポーネンツ	S-24	■mini/ソリューションカタログコーナー	
IONTOFジャパン	S-03	エキシルム AB	SC-1
医化学創薬	S-49		
宇部情報システム	S-47	■研究機関 学協会コーナー	
MTK	S-30	化学物質評価研究機構	SA-08
エレコン科学	S-26	国立環境研究所 基盤計測センター	SA-17
OtO Photonics	S-52	産業技術総合研究所 計量標準総合センター	SA-09
オプティマ	S-28	千葉大学	SA-01
化学物質評価研究機構	S-07	東海国立大学機構 統括技術センター	SA-11
樫山工業	S-45	東海国立大学機構 名古屋大学	SA-12
カネカテクノリサーチ	S-09	東海大学	SA-03
QMAIL	S-44	東京環境経営研究所	SA-04
QunaSys	S-51	東京農工大学	SA-15
協同インターナショナル	S-04	東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター	SA-06
旭栄研磨加工	S-13	東北大学多元物質科学研究所	SA-05
玄川リサーチ	S-42	名古屋工業大学	SA-02
コスモ機器	S-46	日本環境測定分析協会	SA-13
サイニクス	S-05	日本生物工学会	SA-16
Systech	S-16	分析産業人ネット	SA-07
生体分子計測研究所	S-25	放射線利用振興協会	SA-14
セミテック	S-29	北海道大学グローバルファシリティセンター	SA-10
ツインバード	S-08		
ティー・エイ・インスツルメント・ジャパン	S-10	■インターナショナルオーガナイゼーションコーナー	
テクノスルガ・ラボ	S-06	アイオア州政府経済開発機構	SI-4
東海光学	S-12	タイタンテクノロジーズ	SI-2
トリプル・アイ	S-31	中小企業基盤整備機構	SI-1
NAS技研	S-43	PITTCON	SI-6
日科機バイオス	S-23	米国ジョージア州商務省	SI-5
日本アッシュ	S-40	米国大使館 商務部	SI-3
ノーザンサイエンスコンサルティング	S-15		
フィールドテック	S-36	■Lab DX 展示コーナー	
フィルジェン	S-21	東京工業大学/東京大学	SL-1
フィルメトリクス	S-41	バイオテック/マイクロニクス	SL-2
ブロンコスト・ジャパン	S-35	メトラー・トレド/Laboro.AI/ヤマト科学	SL-3
分光応用技術研究所	S-17		
ボールウェーブ	S-38	■メディア&プレスコーナー	
松尾産業	S-50	オプトロニクス社	M-2
三浦工業	S-02	科学新聞社	M-3
三重県環境保全事業団	S-19	デジタルデータマネジメント	M-6
三井情報	S-22	日刊工業新聞社	M-1
ムロオカ産業	S-34	日本工業出版	M-5
室町ケミカル	S-01	丸善出版	M-4
ヤマキ電器	S-20		
ユニオン	S-37		
ユニフローズ	S-18		

10. 新技術説明会

新技術説明会は、「分析ソリューション」の提供、すなわち製品の展示を補完するという点で、ユーザーにとって極めて重要な情報源である。例えば、分析に関する機器や操作の基礎からノウハウに至るまで、機器分析・理化学機器にかかわる様々な情報提供の場として展示会を支えており、それが JASIS 全体の集客の大きな原動力になっている。

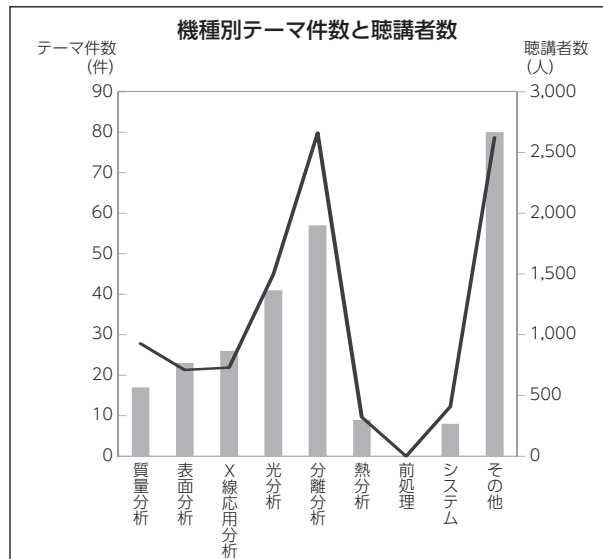
2023 年の発表件数は 261 件と昨年と比較し 36 件増加し（昨年 225 件）、全体の延べ聴講者数は 9,884 名にまで復調した（昨年 6,908 名）。また、昨年会場だったアパホテル＜東京ベイ幕張＞から、幕張メッセの国際会議場に移動し、12 部屋で開催した。定員人数も 100 名・160 名に増やした（去年は 54～100 名）。

なお、出展社発表内容を機種別分類で見ると、「その他」が最も多く 80 件 30.7%（昨年 67 件 29.8%）、次いで「分離分析」57 件 21.8%（昨年 48 件 21.3%）、「光分析」41 件 15.7%（昨年 32 件 14.2%）という順であった。



新技術説明会・延べ聴講者数等

	2023年		2022年		2021年	
	聴講者数 (人)	テーマ数	聴講者数 (人)	テーマ数	聴講者数 (人)	テーマ数
9月6日 (水)	3,472	87	2,113	72	1,615	72
9月7日 (木)	3,767	87	2,388	76	1,730	79
9月8日 (金)	2,645	87	2,407	77	1,468	78
合計	9,884	261	6,908	225	4,813	228
平均	37.9人 / テーマ		30.7人 / テーマ		21.1人 / テーマ	



新技術説明会プログラム

9月6日(水)

部屋番号	時間	テーマ	出展社名(法人格略)	言語
101	10:30~11:00	二次電池性能の理解に貢献する最先端 2D / 3D 観察と解析のご紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
101	11:15~11:45	イオンクロマトグラフィーの基礎:陽イオン、陰イオン分析用カラムと分析条件の選択法	レゾナック	日
101	12:00~12:30	「今まで分からなかった構造が、ついに決定！」特異的フラグメンテーション技術 OAD-MS/MS の効果と利用法をご紹介します	島津製作所	日
101	12:45~13:15	高圧とマイクロウェーブによる課題解決。分析精度向上、難分解試料への対応、基本的な反応系の取り扱いノウハウ	アントンパール・ジャパン	日
101	13:30~14:00	分子観察プラットフォームが捉えた“抗体のコンフォメーション”から考えられる構造と機能の関係	リガク	日
101	14:15~14:45	【食品×LC/MS】世界初の注入機構が前処理から解析を簡便化	アジレント・テクノロジー	日
101	15:00~15:30	飲料水？排水？土壌？サンプルごとに最適な測定を！TOC 計の選択と測定ノウハウ教えます	アナリティクイエナ ジャパン	日
101	15:45~16:15	原子間力顕微鏡 (AFM) を用いた粘弾性測定概説と測定事例紹介 < 定量的測定と精度向上への取り組み >	ブルカー・ジャパン	日
102	10:15~10:45	より正確で安心な分析へ - クロマトグラフィー用試料前処理製品・Tips のご紹介 -	島津製作所	日
102	11:00~11:30	分析の精度管理 — 標準物質と技能試験の活用の仕方 —	西進商事	日
102	11:45~12:15	イオンミリング装置のさらなる有効活用。業務効率化に貢献する各種アプリケーションのご紹介。	日立ハイテク	日
102	12:30~13:00	HORIBA だけからできる！DDS(ドラッグデリバリーシステム)の物性評価手法を一挙ご紹介	堀場製作所、堀場アドバンスドテクノ、堀場エステック、堀場テクノサービス	日
102	13:15~13:45	【XRD】卓上型 XRD、EQUINOX100 のご紹介～独自の CPS 検出器を用いた、全回折パターンの同時データ収集	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
102	14:00~14:30	AFM を用いた物性測定における問題点と解決への新しいアプローチ	オックスフォード・インストゥルメンツ	日
102	14:45~15:15	サンプル前処理フィルター選定のポイント	メルク	日
102	15:30~16:00	携帯型分析計による成分分析 - サステナブルなモノづくり実現のための分析事例	リガク	日
103	10:30~11:00	資源の有効活用に貢献 - エネルギー分散型蛍光 X 線分析によるリサイクル試料分析事例の紹介	リガク	日
103	11:15~11:45	AI 技術で LC 分析法開発を自動化・省力化！～カラム・移動相スクリーニングからグラジエント条件作成まで～	島津製作所	日
103	12:00~12:30	LC 分取精製を始めてみたい方へ。分取精製におけるノウハウの紹介	昭光サイエンス	日
103	12:45~13:15	大容量型有機元素分析装置の開発	ジェイ・サイエンス・ラボ	日
103	13:30~14:00	【近赤外 (NIR) 分光法】化学産業におけるアプリケーションおよび運用事例のご紹介	日本ビュッヒ	日
103	14:15~14:45	プラスチックの多角的評価事例紹介 ～ポリマーブレンドの配合比率や成形条件による特性の変化～	島津製作所	日
103	15:00~15:30	トラブルの原因は何？明日からできる HPLC のトラブル解決法～基礎編～	大阪ソーダ	日
103	15:45~16:15	【分光分析・HPLC】抗体医薬品の最新の測定事例を一挙公開！	日本分光	日
104	10:15~10:45	【HALS、界面活性剤分析】LC と MS 検出器によるポリマー添加剤分析アプローチ	日本ウォーターズ	日
104	11:00~11:30	その場 (in-situ) 観察を始めたい方に 透過電子顕微鏡を用いた動的観察の世界	日本電子	日
104	11:45~12:15	粉体および化学プロセスの DX 化に向けたオンライン測定装置導入の課題と解決策: 実例紹介	マルバーン・パナリティカル (スペクトリス)	日
104	12:30~13:00	こんなに簡単にできるんです！卓上型 MALDI-TOF-MS でのラボ分析一品質管理用途を中心に～	島津製作所	日
104	13:15~13:45	縦型燃焼管を用いた CIC 用自動燃焼前処理装置 NS-11D の紹介 ～基礎編からアプリケーションの紹介～	昭光サイエンス	日
104	14:00~14:30	再生プラスチックに混入している可能性がある欧州 RoHS 規制で新しく公開されたフタル酸エステル類の測定方法と対応装置について	日立ハイテク	日
104	14:45~15:15	NEW! 「卓上 FE-SEM で STEM 観察」	ジャスコインタナショナル	日
104	15:30~16:00	新製品！バイオ医薬品分析に適した疎水性相互作用クロマトグラフィー用カラム TSKgel HIC-ADC Butyl のご紹介	東ソー	日
105	10:30~11:00	AI 活用時代だからこそ押さえておきたい！GC-MS 分析のノウハウ教えます	日本電子	日
105	11:15~11:45	【材料×ICP-MS】フェムト秒レーザーアブレーション 表面分析最新トレンド	アジレント・テクノロジー	日
105	12:00~12:30	～新製品紹介 EasyPlus UV/VIS ～コンパクト。スペクトル分析、比色分析、水質テストを統合した分光光度計。	メトラー・トレード	日
105	12:45~13:15	熱分析基礎講座 (DSC 編)	ネッチ ジャパン	日
105	13:30~14:00	よくわかる！UV による液体試料測定と関連付属品のご紹介	島津製作所	日
105	14:15~14:45	各種ポータブル蛍光 X 線装置の最新技術について紹介する	アワーズテック	日
105	15:00~15:30	高精度で大容量情報の取得を可能にする SEM、FIB-SEM、TEM の自動制御、自動計測技術のご紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名(法人格略)	言語
105	15:45~16:15	すぐ実践!初心者向け分光光度計の基礎講座	日立ハイテック	日
201A	10:15~10:45	もう難しくない!ラマン分光分析を諦めていた試料を簡単に測定するノウハウを公開	ナノフォトン	日
201A	11:00~11:30	非破壊観察ソリューション~ナノスケール 3D X線顕微鏡(XRM、X線CT)の最前線と材料開発における活用例	ブルカー・ジャパン	日
201A	11:45~12:15	荷電化粒子検出器(CAD)を用いた化成品中の難検出成分の測定や不純物の半定量	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
201A	12:30~13:00	すぐ実践!分析初心者必見の現場で役立つ蛍光X線分析スキルアップ講座	日立ハイテック	日
201A	13:15~13:45	凝集・分散による粗大粒子粒子管理に付いて、アキュサイザーを使用した定量測定の有効性をご紹介。	日本インテグリス	日
201A	14:00~14:30	熱融着シール部とガス透過について	GTR テック	日
201A	14:45~15:15	楽々・安心、正確な計量作業をご紹介! ~オートドア分析天びんによる生産性の向上と、安心・安全な計量管理~	島津製作所	日
201A	15:30~16:00	リスクの削減、効率的な分注作業が実現できます ~粉体、液体サンプルに対して規格外エラーを排除できる計量の新スタンダード~	メトラー・トレド	日
201B	10:30~11:00	TIM テスター定常熱流束方式熱伝導率測定で信頼性の高い結果を得るための測定技術紹介	日本サーマル・コンサルティング	日
201B	11:15~11:45	ラボからプロセスまで!半導体分析・計測ソリューションならびに最新ニーズに合わせたカスタマイズ事例のご紹介	堀場製作所、堀場アドバンスドテクノ、堀場エステック、堀場テクノサービス	日
201B	12:00~12:30	【顕微ラマン分光 基礎講座】ラマンイメージング測定の基礎	レニショー	日
201B	12:45~13:15	【新製品】試料作製からTEM観察まで簡単・確実!FIB-SEMシステム JIB-PS500iのご紹介	日本電子	日
201B	13:30~14:00	PFAS分析や海水の分析などブランク水中の極微量の不純物が問題となる環境分析に超純水を用いるためには、何が必要なのか?	ヴェオリア・ジェネッツ エルガ・ラボウォーター	日
201B	14:15~14:45	【新製品】次世代プロセス FT-NIR 近赤外分光計 MATRIX-F II のご紹介と化学・製薬・食品分野でのオンライン分析事例	ブルカー・ジャパン	日
201B	15:00~15:30	ATP法による微生物迅速検査 Lumione BL3000の測定例のご紹介	日立ハイテック	日
201B	15:45~16:15	【FT-IR・ラマン】電池材料分析におけるFT-IR、ラマン分光装置の応用アプリケーション事例	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
301A	10:15~10:45	★安衛法改定に揺れる皆様へ吉報★誰でも安心・簡単・便利の実現をお届け!NCS社による的確な試薬管理対応メソッド♪	池田理化	日
301A	11:00~11:30	【アンビエント分析MS】分離不要 LC/MS、GC/MS だけじゃない!こんな質量分析法もある! ~ある分析者の社内受託の事例~	バイオクロマト	日
301A	11:45~12:15	非導電性試料に対するSEM観察の進め方 ~コーティング編~	日本電子	日
301A	12:30~13:00	【どう変わる?】LIMS導入担当者が語る研究所の変化とメリット	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
301A	13:15~13:45	“EDS”付きで新登場!コンパクト・省スペース設計のTEM	入江	日
301A	14:00~14:30	簡単!便利!分取HPLCの使い方【入門編】~数gオーダーの大量分取まで~	日本分析工業	日
301A	14:45~15:15	ラマンによる原料確認試験の基礎から応用まで	メトロームジャパン	日
301A	15:30~16:00	新たなX線CTシステムが実現!次世代の構造観察技術	島津製作所	日
301B	10:30~11:00	接着剤の硬化する過程をモニタリング!使い捨てフックと使い捨て容器で簡単測定!ゲルタイマー GT-300 PLUSのご紹介	ジャスコエンジニアリング	日
301B	11:15~11:45	非破壊X線イメージングの最前線~新製品 Xradia 630 Versa と深層学習による高解像化ソフトウェアのご紹介~	カールツァイス	日
301B	12:00~12:30	新GC-MSシステムと、におい分析のノウハウで実現! においの原因物質を検出・特定する新たなトータルアプローチ	島津製作所	日
301B	12:45~13:15	【低吸着HPLC】テーリングを抑制して感度を向上する技術	日本ウォーターズ	日
301B	13:30~14:00	既知バイオマーカーに依存しない新規生体計測技術、“PepTenChip®”システムの原理と診断に焦点を当てた応用	ハイベップ研究所	日
301B	14:15~14:45	高分解多核固体NMRの感度を躍進的に改善する方法	日本電子	日
301B	15:00~15:30	エネルギー分散型蛍光X線分析装置(EDXRF)でここまでできます。高感度・高スループットEDXRFを用いたアプリケーション紹介	アメテック	日
301B	15:45~16:15	【HORIBAからのご提案】ラボ用pH・水質計測機器のデータインテグリティ対応について	堀場製作所、堀場アドバンスドテクノ、堀場エステック、堀場テクノサービス	日
302	10:15~11:15	食品・医薬品の現場で使える検査法の最前線 ~食品微生物、食物アレルギー、無菌試験を中心に~	島津製作所	日
302	11:30~12:30	溶液・固体NMR測定技術の製業と材料に向けた最新動向 ~溶液リアルタイム反応モニタリングと固体高速MAS測定~	ブルカー・ジャパン	日
302	12:45~13:45	同一サンプルを別手法で観測!ここでしか見ることができない<顕微IR x 顕微ラマン>の最高性能連携により見えた新世界!	池田理化	日
302	14:00~15:00	フィールド・フロー・フラクシネーションとICPMSによるナノマテリアル分析	旭テックネイオン	日
302	15:15~16:15	GC-MS分析の未来を拓くJEOLの代替キャリアガスソリューション	日本電子	日
303	10:15~11:15	イオンクロマトグラフ(IC)基礎セミナー ~分離の基本から、高感度測定まで~	東亜ディーケーケー	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名(法人格略)	言語
303	11:30~12:30	フルオート多機能走査型 XPS 装置 PHI GENESIS と多機能 TOF-SIMS 装置 PHI nanoTOF との融合	アルバック・ファイ	日
303	12:45~13:45	ここが知りたい! LC-MS による PFAS 分析最前線~定量分析とスクリーニング分析~	SCIEX	日
303	14:00~15:00	【MS 基礎講座】聴けば納得!初めての質量分析計	日本ウォーターズ	日
303	15:15~16:15	「分かりマス!LC-MS の基礎 2023」原理・ノウハウから日常分析の留意点まで、知りたいところ完全網羅の 60 分	島津製作所	日
304	10:15~11:15	すぐ実践!原子吸光度計でスピーディーに分析結果を出す方法	日立ハイテック	日
304	11:30~12:30	簡単操作 & 品質管理に適した水分活性測定装置のご紹介	柴田科学	日
304	12:45~13:45	その分取精製業務、さらに効率化できます:島津の分取精製ソリューションのご紹介	島津製作所	日
304	14:00~15:00	これを聞けばカラム分離の疑問は解ける!メーカーが謳う逆相カラム最新定説:C18 基は立ってる?寝てる?保持の長さは何で決まる?	クロマニックテクノロジーズ	日
304	15:15~16:15	【バイオ医薬品×多次元 LC/MS】前処理からデータ解析を自動化	アジレント・テクノロジー	日

9月7日(木)

部屋番号	時間	テーマ	出展社名(法人格略)	言語
101	10:30~11:00	カーボンニュートラル実現に貢献する分析技術	オックスフォード・インストゥルメンツ	日
101	11:15~11:45	含硫黄・含リン有機化合物もおまかせください!検量線 1 本だけで定量可能なガスクロマトグラフ向けポストカラム反応装置のご紹介	堀場製作所、堀場アドバンスドテクノ、堀場エステック、堀場テクノサービス	日
101	12:00~12:30	研究開発の DX! “誰でも直感的に使える”汎用性・柔軟性が高い国産 ELN(電子実験ノート)『NEXS』の最新機能と導入事例をご紹介します!	西川計測	日
101	12:45~13:15	【よりきれいな SEM 像が得られます!】JEOL の新製品エキシマ UV クリーナーでできること ~コンタミ抑制!汚れ洗浄!親水化処理!~	日本電子	日
101	13:30~14:00	熱流束と電力補償が 1 つになった?新技術の DSC センサーと AI 技術が織りなす DSC 測定の未来	メトラー・トレド	日
101	14:15~14:45	Shodex からのご提案:ODS カラムとは異なる選択性をもつカラムを駆使しよう!多様な化合物の分離例をご紹介します	レゾナック	日
101	15:00~15:30	FTIR とテクスチャーアナライザーでポリマーを測る!様々な分析例や前処理に役立つグッズをご紹介します	ジャスコエンジニアリング	日
101	15:45~16:15	XPS 最新事情!最新の XPS 装置 "Nexsa G2" と最新の分析事例の紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
102	10:15~10:45	【FT-IR・ラマン】マイクロプラスチック分析の特徴と測定・解析に活用できる機能やヒントのご紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
102	11:00~11:30	伸長粘度とせん断粘度の違い~糸引き問題を解決する新商品 伸長粘度計での評価手法~	英弘精機	日
102	11:45~12:15	GC による水素分析特集 - 水素脆化や拡散性水素の水素測定、水素中不純物の測定等、様々な水素分析のノウハウ・最新技術をご紹介します	ジェイ・サイエンス・ラボ	日
102	12:30~13:00	【顕微ラマン分光】ラマンイメージングによる工業材料への応用	レニショー	日
102	13:15~13:45	【FTIR・ラマン】微小試料の分析で困っている方へ~顕微測定・解析のコツを一挙公開!~	日本分光	日
102	14:00~14:30	熱分析・熱物性評価を用いた樹脂の劣化・不良品解析へのアプローチ	ネッチ ジャパン	日
102	14:45~15:15	【新製品】還元気化水銀測定装置 RA-7000 シリーズ最新アプリケーションのご紹介~ NIC は水銀分析に携わるあなたを全力で支えます~	日本インストゥルメンツ	日
102	15:30~16:00	【革新的材料評価 XRD ソリューション】卓上型 X 線回折装置が切り拓く新しい粉末・薄膜・バルク材料評価アプローチ	ブルカー・ジャパン	日
103	10:30~11:00	化学、材料メーカーの試験室における DX の事例紹介と成功のポイント	日本ウォーターズ	日
103	11:15~11:45	データベースでつなぐ材料実験と機械学習	iASYS Technology Solutions	日
103	12:00~12:30	大型、背高試料対応 新型高電圧マイクロ CT CTLabHV の製品紹介	リガク	日
103	12:45~13:15	30 分版:最新 GC でラボの生産性を向上!ラボの自動化/省力化、代替キャリアガス対応、GX・CN アプリケーション	島津製作所	日
103	13:30~14:00	カーボンがカラムの充填剤!? 逆相条件で高極性化合物が保持できる Supelco の新しいカラム	メルク	日



部屋番号	時間	テーマ	出展社名(法人格略)	言語
103	14:15~14:45	AI 技術を使ったカメラでラボ内装置のモニタリングを実現	島津製作所	日
103	15:00~15:30	クロマトグラフィー分析の効率化とヒューマンエラーの削減 ~ LC/GC ワークフローの改善、潜在的な転記ミスの排除を実現~	メトラー・トレード	日
103	15:45~16:15	知っておきたい新しい画像処理を活用した MI の未来	日立ハイテク	日
104	10:15~10:45	【材料× GC/MS】微量不純物分析へのアプローチ	アジレント・テクノロジー	日
104	11:00~11:30	【HPLC】参考書では教えてくれない基礎講座 ~安定した SEC(GPC/GFC) 測定のコツ 基本から効率化まで~	日本分光	日
104	11:45~12:15	多様化するモダリティに対する LC 試験法の設定効率化と信頼性向上	島津製作所	日
104	12:30~13:00	初心者~中級者の方必見!GC-TOFMS の基礎と応用、アプリケーション事例とあわせて分かりやすく解説します!!	LECO ジャパン	日
104	13:15~13:45	労力のかかる食物繊維分析を自動化に! 世界初、全自動食物繊維分析前処理システム「ダイエタリーファイバー TDF」の紹介	アクタック	日
104	14:00~14:30	LA-ICP-MS による新たな挑戦!3D イメージングによる先端材料・デバイス中の元素情報の多角的解析の提案	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
104	14:45~15:15	高い空間分解能を生かしたレーザーラマン顕微鏡による表面分析のノウハウ	ナノフォトン	日
104	15:30~16:00	【メタボローム分析最新情報/半網羅分析から成分グループ分析まで】 ~対象試料および対象成分による固相誘導体化法の最適化~	アイスティサイエンス	日
105	10:30~11:00	ビュッヒのロータリーエバポレーターを正しく使うと、こんな効果が得られます。失敗から成功への近道が聴けるセミナー!	日本ビュッヒ	日
105	11:15~11:45	☆ AFM 電気特性評価の最前線☆半導体故障解析/MLCC/電池などの電気特性評価に適した前処理から解析・データ解釈まで	日立ハイテク	日
105	12:00~12:30	【レオロジー】代替食品のレオロジー	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
105	12:45~13:15	PMT vs CMOS: スパーク発光分光分析装置における検出技術の変化と、最新装置のご紹介	アメテック	日
105	13:30~14:00	ラマン分光法による調湿環境下での結晶構造の評価	キッツマイクロフィルター	日
105	14:15~14:45	有機溶媒の使用を大幅削減! 移動相に二酸化炭素を使用し、環境に優しい分取精製、超臨界流体クロマトグラフィーをご存知ですか?	日本ビュッヒ	日
105	15:00~15:30	材料中のニトロソアミン、PFAS の規制動向と分析ノウハウ	日本ウォーターズ	日
105	15:45~16:15	はじめての電子スピン共鳴 (ESR) 分析 - 原理と測定 -	日本電子	日
201A	10:15~10:45	☆ 3D 計測の幅を広げよう☆様々な手法の 3D 形状計測の使い分けと複数顕微鏡によるリンケージ機能を用いた解析事例のご紹介	日立ハイテク	日
201A	11:00~11:30	試料前処理から LC 分析まで: 島津製作所による新しいラボ業務自動化のご提案	島津製作所	日
201A	11:45~12:15	イオンクロマトグラフィーに適した水と汚染管理	オルガノ	日
201A	12:30~13:00	環境に配慮したモノづくりを!リサイクル品の EDX 活用事例をご紹介します。~金属、樹脂、スラグなど、材料別徹底解説~	島津製作所	日
201A	13:15~13:45	オリゴ核酸や mRNA にも有効! 低吸着を実現する新規 HPLC バイオイナートカラムのご紹介	ワイエムシィ	日
201A	14:00~14:30	C18 カラムでの極性化合物分析にお困りのあなたに!! 大阪ソーダが提案する新たな逆相カラムのご紹介	大阪ソーダ	日
201A	14:45~15:15	Li K, Mg L 発光スペクトルを容易に計測するために ~低エネルギー (35 eV ~) 対応軟 X 線発光分光器 (SXES) 開発状況のご紹介~	日本電子	日
201A	15:30~16:00	真空隔壁ユニットを用いた雰囲気用キャリアガス不要での測定事例の紹介	リガク	日
201B	10:30~11:00	多角的分析で加速する! 高分解能質量分析計と NMR による合成高分子の詳細構造解析	日本電子	日
201B	11:15~11:45	食品・医薬品をはじめとした軽元素マトリックス試料の XRF 分析 ~ WDX と EDX での測定例および測定の注意点~	ブルカー・ジャパン	日
201B	12:00~12:30	【残留農薬 (グリホサート)/ 水質 (PFOS・PFOA)】各種有害物質分析の前処理自動化	アイスティサイエンス	日
201B	12:45~13:15	すぐ実践! 蛍光光度計の測定データを上手に活用する方法	日立ハイテク	日
201B	13:30~14:00	カーボンニュートラルを支援! ~ CO2 固定化評価方法の分析事例紹介~	島津製作所	日
201B	14:15~14:45	【食品・環境× GC/MS】データ解析の自動化・効率化	アジレント・テクノロジー	日
201B	15:00~15:30	全自動光学系切換え Empyrean と卓上型 Aeris による X 線回折装置の進化	マルバール・パナリティカル (スペクトリス)	日
201B	15:45~16:15	HORIBA フラッグシップラマン分光装置 LabRAM シリーズの新機能と最新アプリケーション	堀場製作所、堀場アドバンスドテクノ、堀場エステック、堀場テクノサービス	日
301A	10:15~10:45	世界初音声操作装置 (XV-Talk) 搭載の引張試験機 AGX-V2	島津製作所	日
301A	11:00~11:30	【直接分析 MS】前処理不要 ポリマー分析で諦めていませんか? ~社内受託での日常の分析の様子~	バイオクロマト	日
301A	11:45~12:15	最新の広帯域卓上型 NMR 「X-Pulse」による定性・定量分析例と測定のコツのご紹介	ジャスコインタナショナル	日
301A	12:30~13:00	SEC 分析基礎講座	東ソー	日
301A	13:15~13:45	トヨタ自動車を提供する材料解析クラウドサービス「WAVEBASE」による材料計測データの高付加価値化	池田理化	日
301A	14:00~14:30	最新の顕微赤外高速イメージングと AI 技術を活用した化学分析	ブルカー・ジャパン	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名(法人格略)	言語
301A	14:45~15:15	XPSによる表面分析の基礎と自動車用触媒の価数評価	島津製作所	日
301A	15:30~16:00	C18(ODS)で困った時のHPLCカラム選択:高吸着化合物編~塩基性・金属配位性化合物から、ペプチド・タンパク質まで~	クロマニックテクノロジーズ	日
301B	10:30~11:00	粒子径測定・粒子解析の新しい可能性!自動測定システムによる省力化や、新規アプリケーション事例	堀場製作所、堀場アドバンスドテクノ、堀場エステック、堀場テクノサービス	日
301B	11:15~11:45	粉末X線回折による結晶相同定へのディープニューラルネットワークの応用	リガク	日
301B	12:00~12:30	当社装置による二次電池(リチウムイオン電池)材料評価のご紹介	協和界面科学	日
301B	12:45~13:15	【品質保証のDX】LIMS導入がもたらすラボのデータ活用と生産性向上とは	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
301B	13:30~14:00	フッ素を含む化合物のNMR測定法-多核NMRの基礎と最新アプリケーション-	日本電子	日
301B	14:15~14:45	卓上型TD-NMRを用いた微粒子、電池材料、CNF等の濡れ性・分散性測定のご紹介	オックスフォード・インストゥルメンツ	日
301B	15:00~15:30	自動滴定装置の基礎セミナー~滴定装置の使い方、コツについて紹介~	東亜ディーケーケー	日
301B	15:45~16:15	SPM/AFMとLSMによるナノスケールLiB評価の最前線!表面形状観察から活物質の充電状態の可視化まで	島津製作所	日
302	10:15~11:15	よくわかる!赤外分光法とラマン分光法の基礎と異物・不良解析への応用	島津製作所	日
302	11:30~12:30	【LC基礎講座】違いが分かる!最適機種を選ぶ3つのポイント	日本ウォーターズ	日
302	12:45~13:45	光散乱及び粘度法を用いた高分子分析の基礎と応用-絶対分子量、分岐度、分子形態、共重合体解析-	昭光サイエンス	日
302	14:00~15:00	最新FE-SEM SU8600/SU8700による低加速電圧観察&自動化ソリューションの紹介	日立ハイテク	日
302	15:15~16:15	ヘリウムガスの節約方法を徹底解説!GCMS分析におけるヘリウムガス消費削減や、代替キャリアガス使用時のノウハウをご紹介	島津製作所	日
303	10:15~11:15	NDMAや残留農薬等の規制化合物のスクリーニング法や構造解析におけるQTOFとトリプル四重極(QTRAP)の使い分けとライブラリ活用術	SCIEX	日
303	11:30~12:30	質量分析をマスターするためのMS基礎講座!!	日本電子	日
303	12:45~13:45	水質計測機器のベーシック講座「測定原理から測定のコツ、メンテナンス方法まで」	堀場製作所、堀場アドバンスドテクノ、堀場エステック、堀場テクノサービス	日
303	14:00~15:00	O-PTIRによる0.5μm空間分解能の赤外・ラマン分析「miRage」の最新情報(2種のプローブレーザー・配向測定等)の紹介	日本サーマル・コンサルティング	日
303	15:15~16:15	【未来のラボ×ラボ管理システム】デジタルで新たな時代を生き残る	アジレント・テクノロジー	日
304	10:15~11:15	酵母、大腸菌、バクテリア等の分野に大革命~全自動コロニーピッカー【PIXL】のご紹介~	旭テクネイオン	日
304	11:30~12:30	ナノ・マイクロ粒子分析の新展開!FTIRイメージングとICP-MSで大気中・工業用高純度ガス中の微粒子の存在と組成が明らかに!	PerkinElmer Japan	日
304	12:45~13:45	最先端!自動高速マイクロ波酸分解装置BLADEブレードや自動高速溶媒抽出システムEDGEの特徴と最新アプリケーションのご紹介	CEM Japan	日
304	14:00~15:00	【基礎から学ぶ】 精確な分析のためのマイクロウェーブによる前処理から原子吸光やICP発光分析までのノウハウを教えます!	アナリティクイエナ ジャパン	日
304	15:15~16:15	もう慌てない!ICのトラブル解決 基礎・基本 —あなたのICを上手く使いこなすために—	メトロームジャパン	日

9月8日(金)

部屋番号	時間	テーマ	出展社名(法人格略)	言語
101	10:30~11:00	マイクロプラスチックの分析をはじめよう!~自動前処理から分析まで~	島津製作所	日
101	11:15~11:45	ラボ分析技術を先端生産プロセス制御へ! X線・分光技術と次世代データハンドリングの先端生産プロセスへの適用事例	堀場製作所、堀場アドバンスドテクノ、堀場エステック、堀場テクノサービス	日
101	12:00~12:30	【凍結粉碎装置】 瞬時に試料を粉碎!合成ポリマーや生体試料の粉碎に最適な装置を豊富な粉碎例と共にご紹介!します	フロンティア・ラボ	日
101	12:45~13:15	Magritek社卓上型NMR Spinsolve 90MHzとSpinsolve 80MHz Multi Xの新しいアプリケーション	朝日ラボ交易	日
101	13:30~14:00	進化した飛行時間型ICP-MSで何が出来るか? 高速多元素分析における最新アプリケーション例と四重極型ICP-MSとの比較	日立ハイテク	日
101	14:15~14:45	最先端研究用自動化AFMとハイブリッドAFM技術の紹介	パーク・システムズ・ジャパン	日
101	15:00~15:30	HPLCによる核酸分離例のご紹介 ~様々な分離モードを用いて~	東ソー	日
101	15:45~16:15	ソフトウェア援用によるNMRデータを使った課題解決 -NMR装置を最大限活用するヒント-	日本電子	日
102	10:15~10:45	GC-MSにおける効率的な解析手法教えます! -AIによる自動構造解析とその結果の運用について-	日本電子	日
102	11:00~11:30	熱分解-GC/MS分析【入門編】 ~据付不要のポータブル型から多検体対応のオート型まで~	日本分析工業	日
102	11:45~12:15	分析ラボでのLC、LC-MS分析のワークフローの自動化を実現!~他社前処理装置と島津LC、LC-MSを連携~	島津製作所	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名(法人格略)	言語
102	12:30~13:00	試験・分析・検査のDX! "自動化により転記・入力力・紙ゼロを目指す!" LIMS(分析情報管理システム)の導入事例と新機能をご紹介!	西川計測	日
102	13:15~13:45	【新製品】 Nicolet RaptIR 赤外線顕微鏡および DXR3Flex ラマン分光装置のご紹介—ユーザビリティの向上と材料分析への応用	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
102	14:00~14:30	ポテトチップスやソーセージなど食品の食感を数値化して評価! テクスチャーアナライザー TX-700 のご紹介	ジャスコエンジニアリング	日
102	14:45~15:15	【材料×GPC & LC/MS】ポリマーから添加剤分析の最前線	アジレント・テクノロジー	日
102	15:30~16:00	質量測定の高精度さ(不確かさ)と ISO・GMP・局方における品質マネジメントシステム	メトラー・トレード	日
103	10:30~11:00	あっという間に解析完了。世界初 BEX イメージングシステム Unity で製品開発・故障解析業務の効率を飛躍的に向上	オックスフォード・インストゥルメンツ	日
103	11:15~11:45	こんなに簡単にできるんです! 食品開発のためのフードメタボロミクス ~質量分析によるワンランク上の成分分析~	島津製作所	日
103	12:00~12:30	研究開発も分析・解析も唯一無二の性能を実感! ナノフoton社のレーザーラマン顕微鏡でケミカルイメージングしよう。	池田理化	日
103	12:45~13:15	蛍光 X 線分析とは? 元素マッピングができる微小部蛍光 X 線分析とは? その違いや最新テクノロジーをご紹介します。	ブルカー・ジャパン	日
103	13:30~14:00	これで安心!! ICP 質量分析計を導入する前に知っておきたい測定ノウハウと業務効率アップのポイント	島津製作所	日
103	14:15~14:45	試験紙測定もデジタル管理 :StripScan システム	メルク	日
103	15:00~15:30	高度なイメージングを可能にする Gemini カラム搭載ミドルクラス FE-SEM Sigma シリーズ	カールツァイス	日
103	15:45~16:15	すぐ実践!! ICP-OES の測定方法と最新アプリケーションのご紹介	日立ハイテック	日
104	10:15~10:45	今年発表の新技術をご紹介! ナノインデクサー最新トレンド 2023<ナノ~マイクロの硬さ・弾性率・スクラッチ・粘弾性評価技術>	ブルカー・ジャパン	日
104	11:00~11:30	実際のトラブルから学ぶ! 公開カラムトラブル解決のノウハウ~ C18 から HILIC まで徹底解説~	クロマニックテクノロジーズ	日
104	11:45~12:15	リチウムイオン電池の生産性・電池性能向上に役立つ、製造工程における評価・解析手法	英弘精機	日
104	12:30~13:00	データインテグリティ運用に向けた効率的な監査証跡レビュー方法と、リモート環境やクラウド環境への対応システムの紹介	島津製作所	日
104	13:15~13:45	GC-トリプル QMS が切り拓く新しい材料分析の世界	日本電子	日
104	14:00~14:30	RISE -SEM と Raman を組み合わせた相関分析技術 - の概要とその応用例	オックスフォード・インストゥルメンツ	日
104	14:45~15:15	AI 技術でラボの生産性を向上~深層学習を用いた GCMS 用波形処理技術の残留農薬分析への対応~	島津製作所	日
104	15:30~16:00	【SEM- ラマン装置】最新型 SEM・Raman 装置 inLux のご紹介	レニショー	日
105	10:30~11:00	サイズ排除クロマトグラフィーでできることは? 高分子の測定方法とカラムを長持ちさせるコツ	レゾナック	日
105	11:15~11:45	ICP 分析・水銀分析の前処理に最適な新発想の酸循環型前処理装置エコプレシシステムシステムのしくみ、分解事例の紹介	アクタック	日
105	12:00~12:30	【水素エネルギーと熱分析】水素等の可燃性ガスや水蒸気雰囲気にも対応し、真空/加圧、ガス流量も自動化された熱分析装置のご紹介	日本サーマル・コンサルティング	日
105	12:45~13:15	【分光光度計】基本操作と測定時のノウハウを伝授 ~分光光度計の基本 & 積分球~	日本分光	日
105	13:30~14:00	LC, LCMS 分析における課題を解決するカラム、バイアルの紹介	島津製作所	日
105	14:15~14:45	GC-MS を用いたリチウムイオン電池電解液の分析アプリケーション(電解液成分の定量から分解物の同定まで)	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
105	15:00~15:30	【食品およびメッキ業界向け】自動滴定装置を使用した各種成分の測定事例とコツをご紹介	HIRANUMA	日
105	15:45~16:15	AA を使い倒す!! ICP ユーザーも必見、意外と知らない原子吸光のメリット	島津製作所	日
201A	10:15~10:45	機械学習を応用した二次電池の特性評価と試験データ管理ソリューション	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
201A	11:00~11:30	半導体、ライフサイエンス、その他の産業における液中微粒子の特性評価に適した粒子径分布・ゼータ電位測定装置の紹介	日本インテグリス	日
201A	11:45~12:15	ナノスケールで形状、電気・機械特性、化学構造を俯瞰する! Bruker の nanoIR テクノロジー	ブルカー・ジャパン	日
201A	12:30~13:00	HPLC の基礎~メソッド開発の基礎と検出器の選択法~	日立ハイテック	日
201A	13:15~13:45	無機元素分析のための酸分解処理における試薬添加操作を簡単・自動化! 自動試薬分注モジュール easyFILL のご紹介	マイルストーンゼネラル	日
201A	14:00~14:30	より高速な LC 分析へ ~ HPLC → UPLC への道のり~	日本ウォーターズ	日
201A	14:45~15:15	既知バイオマーカーに依存しない新規生体計測技術、“PepTenChip®” システムの原理と診断に焦点を当てた応用	ハイベップ研究所	日
201A	15:30~16:00	素材視点からカーボンニュートラル実現を考える - 触媒、電池、燃料電池の進化を支える「はかる」ソリューション	堀場製作所、堀場アドバンスドテクノ、堀場エステック、堀場テクノサービス	日
201B	10:30~11:00	マルバーンパナリティカル×ネッチの提案 エッジな技術の使い分け戦略をご紹介! 粒子計測、熱分析、X 線分析を原理から応用まで解説	マルバーン・パナリティカル(スペクトリス)	日
201B	11:15~11:45	世界で通用する pH 測定 基礎講座 ~測定結果の信頼性を上げるための考え方~	メトラー・トレード	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名(法人格略)	言語
201B	12:00~12:30	微小・微量のサンプルの構造解析を行おう!	リガク	日
201B	12:45~13:15	ポリマーをレーザーラマン顕微鏡で測定する必殺技	ナノフォトン	日
201B	13:30~14:00	最新の蛍光 X 線分析装置 μ XRF XGT-9000 Expert を用いた異物分析事例のご紹介	堀場製作所、堀場アドバンスドテクノ、堀場エステック、堀場テクノサービス	日
201B	14:15~14:45	【環境×ケミカルイメージング】さらに簡略化 マイクロプラスチック迅速分析	アジレント・テクノロジー	日
201B	15:00~15:30	【お悩み解決：粒子径分布(レーザー回折・散乱法)】-装置更新時に起こる課題(データ互換・測定手順の移管)の解決法をご紹介-	マルバーン・パナリティカル(スペクトリス)	日
201B	15:45~16:15	最新の XRD アプリケーションのご紹介 - 電池材料の分析 -	リガク	日
301A	10:15~10:45	【FTIR・ラマン】成分分析・反応解析に興味のある方へ～最新の測定・解析の仕方を一挙公開!～	日本分光	日
301A	11:00~11:30	第三の分析手法を活用しよう! イオンクロマトグラフィーによる多様なサンプルマトリックス中のアミン類と有機酸類の測定	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
301A	11:45~12:15	新しい溶存イオン分析システム～ITD による前処理と測定器への直接導入～	アナテック・ヤナコ	日
301A	12:30~13:00	透過電子顕微鏡を使いこなすための基礎と実践的テクニック	日本電子	日
301A	13:15~13:45	東ソーとオルガノのコラボレーション! ～超純水装置直結型イオンクロマトグラフの紹介～	東ソー	日
301A	14:00~14:30	測定から解析までをシームレスに実現! X 線 CT システムによる自動化アプリケーション	リガク	日
301A	14:45~15:15	【GC・LC(MS) ユーザー必見! 前処理装置 ALL 紹介】前処理の自動化で省力化と精度 UP。測定まで全自動分析。試料凍結粉砕装置も紹介。	アイスティサイエンス	日
301A	15:30~16:00	トラブルの原因は何? 明日からできる HPLC のトラブル解決法～実践編～	大阪ソーダ	日
301B	10:30~11:00	カーボンニュートラルに向けた先端有機材料の LC、GC 分析技術	日本ウォーターズ	日
301B	11:15~11:45	電子プローブマイクロアナライザー (EPMA) を用いた高精度定量マップ分析のハイスループット化を達成する新機能のご紹介	日本電子	日
301B	12:00~12:30	【ここが違う!】データインテグリティ (DI) 対応水分計・自動滴定装置で管理業務負担を軽減。搭載機能とサポートのご紹介	日東精工アナリテック	日
301B	12:45~13:15	手動滴定から電位差自動滴定への移行のすすめ	メトロームジャパン	日
301B	13:30~14:00	窒素・たんぱく質測定と脂質の測定のおさらい～ケルダール法とソックスレー法の基礎とポイント～	日本ビュッヒ	日
301B	14:15~14:45	すぐ実践! 知って得する熱分析ノウハウ～NEXTA DSC の活用術	日立ハイテック	日
301B	15:00~15:30	遺伝子治療、ワクチン開発に向けたクライオ電子顕微鏡法によるウイルスクターの特性解析	サーモフィッシャーサイエンティフィック	日
301B	15:45~16:15	電子顕微鏡を用いた様々な元素分析手法のご紹介と、元素分析をする際のヒントをアプリケーション事例と共に紹介します。	ブルカージャパン	日
302	10:15~11:15	最先端のデータ処理技術と、それでも必要な機器分析の基礎知識とノウハウ:LC を例に	島津製作所	日
302	11:30~12:30	物理化学と計算科学を駆使した蛋白質解析に基づく抗体の品質評価 東京大学大学院工学系研究科 長門石 暁 先生	旭テクネイオン	日
302	12:45~13:45	韓国の研究機器企業 2 社の新技術動向発表	韓国研究産業協会	日
302	14:00~15:00	水質測定基礎セミナー ～pH、ORP、電気伝導率、DO 測定の基礎～	東亜ディーケーケー	日
302	15:15~16:15	最新 GC でラボの生産性を向上! ラボの自動化/省力化、代替キャリアガス対応、GX・CN アプリケーション	島津製作所	日
303	10:15~11:15	【材料×ICP-MS】トリプル四重極 ICP-MS 材料分析最新トレンド	アジレント・テクノロジー	日
303	11:30~12:30	意外と知らない! ? 理化学用ガラス器具の正しい知識と取り扱い	柴田科学	日
303	12:45~13:45	誰でも安心して使える! リガクが提示するこれからの高性能・高機能 DSC	リガク	日
303	14:00~15:00	知っているのと分析が楽になる! ILS-MS/MS の基礎セミナー	SCIEIX	日
303	15:15~16:15	ナノからミクロンサイズまで、粒子径範囲ごとの精密粒度分布測定法の紹介	昭光サイエンス	日
304	10:15~11:15	～熱分析は NEXT ステージへ～ 粘弾性測定装置 DMA の最前線! 機能拡張と最新活用事例	日立ハイテック	日
304	11:30~12:30	地球温暖化対策の切り札 カarbonリサイクル! CO ₂ の“固定化量”評価で注目を集める全自動“固体”TOC 分析装置のご紹介	エレメンター・ジャパン	日
304	12:45~13:45	ガス・水蒸気・液体の【透過度測定】方法の紹介。バリア膜、燃料電池用 PEM!	GTR テック	日
304	14:00~15:00	微粒子特性評価の新たな挑戦 - 粒子サイズ・形状・表面構造の評価など -	島津製作所	日
304	15:15~16:15	【LC カラム基礎講座】選択のコツとトラブル回避テクニック	日本ウォーターズ	日

11. JASIS トピックスセミナー

「トピックスセミナー」は、私たちを取り巻く環境に存在する多種多様な社会課題の解決へつながる情報や気づきを得ていただくことを目的として2021年から開催している。

セミナーの内容としては、社会課題に連動する「先端材料」「環境」「教育」「ライフサイエンス」「食品」「DX」の6つのトピックスを設定し、幕張メッセ国際会議場のコンベンションホールA、B、国際会議室を使用した。

聴講者数は会場定員を増やしたことで、延べで4,991人（昨年2,654人）と昨年比188%となった。前回に引き続き、展示会場内JASIS スクエアのステージ上で、トピックスセミナーと連携する企画を実施した。（詳細はp.30、31）

また、日本学術振興会（R053 設計・計測・解析の協調プラットフォーム委員会）との第1回公開講演会、そして英国王立化学会（RSC）とのRSC-TIC等、他団体との連携企画を実施した。

1. 概要

【会期】2023年9月6日（水）～9月8日（金）

【講演タイトル数】47タイトル（36タイトル）※

【延べ聴講者数】4,991人（2,654人）※

（ ）※はJASIS 2022実績



2. 講演日、タイトル、聴講者数一覧

開催日	トピックス	テーマ	講演タイトル	講師	聴講者
9月6日(水)	先端材料	プラスチックリサイクルの最新動向と機器分析	プラスチックリサイクルからみる炭素循環	東北大学 大学院環境科学研究科 教授 吉岡敏明氏	326
			プラスチックリサイクルにおける機器分析の役割	東北大学 大学院環境科学研究科 助教 熊谷将吾氏	
		ポリマーの挑戦—軽量化でサーキュラーエコノミー実現を目指す	サーキュラーエコノミーに貢献する環動高分子	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授 伊藤 耕三氏	162
			「しなやかなタフポリマー」が素材の可能性を拓く	東レ 化成品研究所 研究主幹 小林 定之氏	
	カーボンリサイクルに貢献する膜分離技術の最新動向	CO ₂ 分離膜の概観	山口大学 大学院創成科学研究科 名誉教授/ 学術研究員 喜多 英敏氏	194	
		CCUS のための CO ₂ 膜分離技術の開発動向	地球環境産業技術研究機構 (RITE) 化学研究グループ 主任研究員 甲斐 照彦氏		
	教育	JAIMA セミナー①	自信の持てる溶液調製—何をどのように溶解するか—	宇都宮大学 工学部 教授 上原 伸夫氏	413
			機器分析における測定値の信頼性	明星大学 大学院理工学研究科 教授 上本道久氏	
	環境	ヘリウム需給状況と代替技術	ヘリウム供給不足と環境分析	国立環境研究所 企画部 フェロー 鈴木 規之氏	394
			ヘリウムの世界需給と日本の調達見通し	ガスレビュー 代表取締役社長 小泉 善樹氏	
	教育	JAIMA セミナー②	はじめての「計測における不確かさ」	産業技術総合研究所 計量標準総合センター 工学計測標準研究部門 データサイエンス研究グループ 研究グループ長 田中 秀幸氏	411
	ライフサイエンス	日本薬局方セミナー	日本薬局方に関する最近の話題	国立医薬品食品衛生研究所 副所長 齋藤 嘉朗氏	340
第十八改正日本薬局方第二追補における理化学関連一般試験法・参考情報の改正案			北里大学 薬学部 教授 加藤 くみ子氏		
新規参考情報「せん断セル法による粉体の流動性測定法 <G2-5-181>」について			星薬科大学 薬学部 教授 米持 悦生氏		
日本学術振興会		日本学術振興会 R053 設計・計測・解析の協調プラットフォーム委員会 第1回公開講演会 計測分析データ共通フォーマット開発の現状と今後の展開 「計測分析プラットフォーム第193委員会の活動成果と活用に向けて」	産業技術総合研究所 重藤 知夫氏 九州工業大学 安永 卓生氏 日本電子 高杉 憲司氏、中野 和宏氏 島津製作所 山本 聡氏 東京大学 小林 成 氏(講演者)、一杉 太郎氏 旭化成 永富 隆清氏 産業技術総合研究所 藤本 俊幸氏 産業技術総合研究所 出町 公二氏	168	
9月7日(木)	ライフサイエンス	ヒトゲノム解読完了20周年記念特別企画 「先人の熱い思いに学び、現在の諸課題に挑戦し、未来を拓く」	「ヒトゲノム計画から30年、医学・生命科学・バイオテクノロジーの大変革」	東京大学 名誉教授 楠 佳之氏	222
			DNA 解析技術の開発—DNA シーケンサから1細胞および組織解析へ—	フロンティアバイオシステムズ 代表取締役/日立製作所 名誉フェロー 神原 秀記氏	
			なぜ日本で「次世代シーケンサー」が開発できなかったのか。	千葉大学 未来医療教育研究機構 特任教授 菅野 純夫氏 ▶総合司会進行・モデレーター バイオディスカバリー 代表取締役 岩瀬 壽氏	
	生命科学を加速する未踏分析技術へのグローバルな挑戦		はじめに - 生物工学研究における分析機器の重要性	広島大学 大学院統合生命科学研究科 教授 中島田 豊氏	312
			希少細胞のトランスクリプトミクスを可能とする細胞操作技術	東京農工大学 大学院工学研究院 教授 吉野 知子氏	
			代謝物分析の高度化に向けた超臨界流体抽出・クロマトグラフィー装置の開発	九州大学 生体防御医学研究所 教授 馬場 健史氏	
			メタボロミクスデータを処理し、仮説を導出するには	大阪大学 大学院情報科学研究科 教授 松田 史生氏 ▶総合討論・ゲスト バイオディスカバリー 代表取締役 岩瀬 壽氏	
	未踏分析技術が可能にする新時代創業の幕開け		未踏計測科学が切り開く未来型創業の展望	東北テクノアーチ (TLO) 社長補佐・産学連携アドバイザー 根本 靖久氏	198
			高活性触媒的標的 RNA 切断機能付与型人工核酸医薬による新時代核酸医薬の展望	東北大学 多元物質科学研究所 有機・生命科学研究部門主任 教授 和田 健彦氏	
			Undruggable な分子標的を druggable にする PROTAC 創薬研究の展望	東北大学 大学院薬学研究科 教授 岩瀬 好治氏	
			標的タンパク質分解誘導による医薬品パイプライン充実化	アステラス製薬 プロテインデグラダー部門長 早川 昌彦氏	

開催日	トピックス	テーマ	講演タイトル	講師	聴講者
9月7日(木)	先端材料	エネルギー産業の低炭素化、支える材料技術開発	エネルギー産業の現状と今後の課題	日本エネルギー経済研究所 電力・新エネルギーユニット 担任補佐 研究理事 小笠原 潤一 氏	155
			高効率水素液化を実現させる磁気冷凍材料開発研究	物質・材料研究機構 エネルギー・環境材料研究センター 水素関連材料グループ NIMS 特別研究員 北澤 英明 氏	
	環境	使用済みプラスチック再資源化に向けた企業連携活動	使用済みプラスチック再資源化に向けた企業連携活動	アールプラスジャパン 代表取締役社長 横井 恒彦 氏	139
9月8日(金)	食品	よりおいしいご飯を食卓へ	米の食味とその評価	新潟薬科大学 応用生命科学部 特任教授 大坪 研一 氏	198
			炊飯米評価に関する分析及び、業態別の提案について	伊藤忠食糧 米穀本部米穀サポートチーム 安藤 美紀子 氏	
9月8日(金)	DX	ロボットとAIが実現する研究の自動化・遠隔化	「ロボットとAIが実現する研究の自動化・遠隔化」	ロボティック・バイオロジー・インスティテュート 取締役 夏目 徹 氏	289
		化学業界・研究開発の最先端DX	実験自動化とマテリアルズインフォマティクスによる研究開発のDX	旭化成 デジタル共創本部 インフォマティクス推進センター R&D DX 部長 夏目 穰 氏	299
			デジタル化と自動化による研究開発加速に向けた取り組み	三菱ケミカル Science & Innovation Center, Materials Design Laboratory 主任研究員 田邊 祐介 氏	
	LADS OPC-UA: 研究・分析機器のための「共通言語」	LADS OPC-UA: 研究・分析機器のための「共通言語」	SPECTARIS LADS OPC UA ジョイントワーキンググループ 最高技術責任者 Matthias Arnold 氏	129	
	環境中汚染物質の分析	環境中汚染物質の分析	大気中ナノ粒子の特性及びその健康リスク	金沢大学 理工研究域 地球社会基盤学系 特任教授、金沢大学 名誉教授 古内 正美 氏	140
			ベトナム・ハノイの都市部微小粒子状物質における AhR アゴニストの毒性同定と評価	ベトナム国家大学 ハノイ自然科学校 教授 Le Huu Tuyen 氏	
			重金属のリスク評価における安定同位体比分析の役割	東洋大学 生命科学部 教授 吉永 淳 氏	
	世界に広がる化学物質規制の最新動向	世界に広がる化学物質規制の最新動向	ストックホルム条約最新情報	経済産業省 製造産業局 化学物質管理課 入間川 伸一 氏	319
			海外におけるPFAS規制動向	三井・ケマーズ フロロプロダクツ 経営企画室 石川 淳一 氏	
			欧州環境規制の動向 (REACH/RoHS/エコデザインを中心に)	在欧日系ビジネス協議会 Policy Manager 三浦 哲三郎 氏	
	プラスチックの汚染分析	プラスチックの汚染分析	大気中マイクロプラスチックの実態解明と健康影響	早稲田大学 創造理工学部 大河内 博 氏	183
			海洋における生分解性プラスチック試験とアンダマン海・タイ湾の海岸砂に含まれるマイクロプラスチックの定量化	タイ科学技術研究所 (TISTR) 材料生分解試験室長 Anchana Pattanasupong 氏	
マイクロプラスチックと人間: 暴露の証明と危険の仮説			マルケ工科大学 生命環境科学部研究員 (イタリア・アンコーナ市) Valentina Notarstefano 氏		
		RSC-TIC (Royal Society of Chemistry-Tokyo International Conference)	"Data Processing and the Use of Smartphones for Analytical Chemistry"	RSC-TIC オーガナイザー 久本 秀明 (RSC アナリストアソシエイトエディター、大阪公立大学) ダニエル・チッテリオ (RSC フェロー、慶應義塾大学)	

12. JASIS スクエア

昨年に引き続き、出展社・主催者による展示スペース・プレゼンテーションステージとして、展示会場内に「JASIS スクエア」を設置した。概要及びプログラム詳細と参加者数は次ページのとおり。

<展示スペースの実施内容概要>

- ①「研究機関・学協会エリア」、「国際ナショナルオーガナイゼーションエリア」を集約
- ②「LabDX」にフォーカスした、出展社とJAIMA 技術委員会による特別展示を実施
- ③ 国立科学博物館から機器遺産品を借用展示し、ゲノム解読 20 周年を記念した特別コーナーを展開

<プレゼンテーションステージの実施内容概要>

- ① 両主催者会長による記者会見において JASIS のテーマ、メッセージを発信
- ② 出展社が各社約 2 分間の持ち時間で新製品や新技術を紹介するプレゼン企画の実施
- ③ LabDX の出展社に対し、プレゼンテーション枠を提供
- ④ トピックスセミナーの一部テーマに関連する講演を開催
- ⑤ JSIA による業界初心者向け「科学機器入門セミナー」を実施
- ⑥ JAIMA 国際委員会による海外友好団体の活動紹介

1. 概要

【会期】 2023 年 9 月 6 日 (水) 10 時 ~ 9 月 8 日 (金)

【会場】 幕張メッセ国際展示場 5 ホール奥



< JASIS メッセージ イメージ図 >

2. プログラムと聴講者数

日程	講演時間	講演タイトル	所属・会社名	聴講者数
9月6日(水)	10:30 ~ 11:30	記者会見 & JASIS2023 メッセージ発信		
	12:00 ~ 13:00	我が社『イチ推し』フラッシュプレゼンテーション	英弘精機、ハイベップ研究所、ASICON、ハンナ インスツルメンツ・ジャパン、クロマニックテクノロジーズ、日東精工アナリティック、Admesy Japan、協同インターナショナル、バイオメディカルサイエンス、アド・サイエンス、エドワーズ、レスターコミュニケーションズ、ユニフローズ、エムエス機器、マイクロエミッション、名古屋工業大学、大阪ソーダ、三浦工業、QunaSys	36
	13:30 ~ 13:55	データ・ロボット駆動科学を推進するデジタルラボラトリー ~全体構想と世界の動向~	東京工業大学	49
	14:10 ~ 14:35	デジタルラボラトリーによる新しい研究開発の進め方 ~具体的なシステム構成とネットワーク構成~	東京工業大学	40
	15:00 ~ 15:25	ラボ向け自動化システム導入実績のご案内	バイオテック	45
	15:40 ~ 16:05	研究開発現場における自動化技術のご紹介と AI 活用の未来	ヤマト科学	51
9月7日(木)	10:30 ~ 11:30	我が社『イチ推し』フラッシュプレゼンテーション	フィルジェン、パーク・システムズ・ジャパン、ザルトリウス・ジャパン、エイピス、ワイエムシー、スクラム、ジャスコエンジニアリング、エッペンドルフ、ライフィクスアナリティカル、JFE テクノリサーチ、東海光学、生体分子計測研究所、大興製作所、柴田科学、フロンティア・ラボ、宇部情報システム、横河電機、QunaSys	42
	12:00 ~ 13:00	未来社会共創に向けた未踏計測 未来社会共創に向けた未踏計測による東北大学多元物質科学研究所の多元的研究の紹介	東北大学 多元物質科学研究所・所長 寺内 正己 氏	34
	13:30 ~ 14:30	JMAC テクニカルセミナー：食品分野における標準化活動	国立医薬品食品衛生研究所/食品添加物部 部長 杉本 直樹 氏 島津製作所/分析計測事業部 Solutions COE ヘルスケアソリューションユニット 食品 G 野村 文子 氏 バイオ計測技術コンソーシアム (JMAC) /研究部 食品産業標準化室 室長 川島 早香 氏	38
	15:30 ~ 16:30	生命科学研究を加速する未踏分析技術	大阪大学 大学院工学研究科生物工学専攻 教授 内山 進 氏	43
9月8日(金)	10:30 ~ 11:30	科学機器入門セミナー『展示会 JASIS の歩き方』	日本科学機器協会外嶋友哉氏 掲載会社 7 社	83
	12:00 ~ 13:00	科学機器入門セミナー『展示会 JASIS の歩き方』	日本科学機器協会外嶋友哉氏 掲載会社 7 社	79
	13:30 ~ 14:30	海外友好団体からのメッセージ	1. 米国大使館 2. 米国ジョージア州商務省 3. アイオア州政府経済開発機構 4. Pittcon(米国) 5. Messe Muenchen(ドイツ) 6. Analytical, Life Science & Diagnostics Association (米国) 7. EUROMII(欧州) 8. 中国分析測試協会(中国) 9. 機器信息网(中国) 10. VINALAB(ベトナム) 11. TISTR(タイ) 12. Separation Science(シンガポール) 13. Indian Analytical Instruments Association(インド)	7
	15:00 ~ 16:00	SDGs に貢献する Neo バイオ技術	東京理科大学 名誉教授 坂口 謙吾 氏	25

13. JASIS WebExpo® 2023

1. 概要

- 【会 期】 前期：2023年7月5日(水) 10時～9月8日(金) …66日間
JASIS 2023：2023年9月9日(土)～11月30日(木) 17時…83日間
- 【会 場 構 成】 バーチャル展示会場、新技術説明会会場、主催者セミナー会場、関連団体セッション会場、INTERNATIONAL CONTENTS 会場
- 【掲載出展社数_延べ】 42社(昨年84社)
- 【接触ID数_重複無し】 11,950(昨年11,927)
- 【延べ閲覧回数】 49,581(昨年68,811)

2. 訪問者数5年連続1万人以上。オンラインとリアルで出展社のリード入手を支援。

JASISでは、Webと展示会のハイブリッド開催に早くから着目し、「会期3日間」「幕張」という従来のJASISから、「長期間、どこからでも」出展、参加できる新しいJASISへの発展を目指し、2017年からJASIS WebExpo®をスタート。直近の5年間毎年1万人以上(重複無し)の方がご覧いただく人気企画となった。WebExpo閲覧者へのアンケートでは、「幕張会場へ行く予定/行った」が73%、「WebExpoがあるので幕張会場へ行くのを止めた」と回答した方は16%にとどまり、リアルの幕張JASISとオンラインのWebExpoとそれぞれの良さを感じている来場者が多いことを示している。

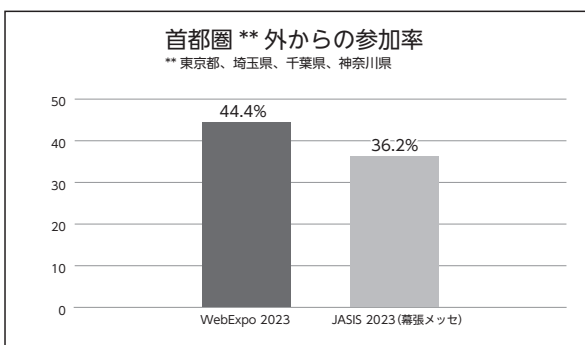
3. 分析機器・科学機器ユーザー閲覧者が65%超。首都圏以外の閲覧者が約50%

首都圏以外の分析機器・科学機器ユーザーへのリーチ手段として。

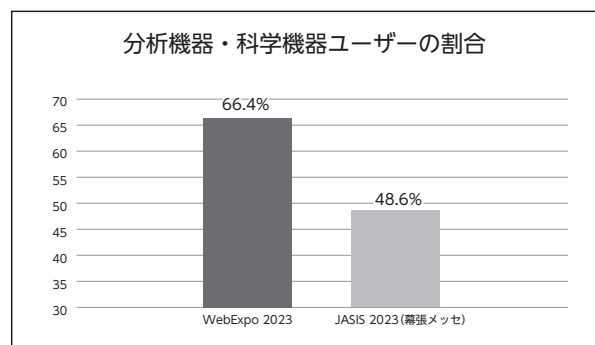
幕張会場のリアル展示会では、首都圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)外からの来場者割合が36.2%であるところ、WebExpoでは年々首都圏外からの閲覧者数が増え44.4%となった。また、幕張開催のリアルJASIS来場者の48.6%が「分析機器・科学機器ユーザー」であるが、WebExpoではそれを上回る66.4%がユーザー来場者となった。幕張会場にはご来場いただけない分析機器・科学機器ユーザーと出展社とのアクセスポイントを創出することを引き続きWebExpoで目指していく。

●業種別で特に多いのは次の4業種 ()内は、JASIS 2023の幕張会場来場者における割合

電子・電機・精密機器(分析機器)	16.5%(17.4%)
分析技術サービス(分析・試験・検査)	11.4%(10.5%)
化学製品(インク・塗料・農薬・香料等)	10.7%(7.8%)
製薬・試薬・化粧品	10.1%(7.0%)



首都圏外からの来場者比率がWebExpoの方が8.2ポイント高かった。



分析機器・科学機器ユーザーの来場者比率がWebExpoの方が17.8ポイント高かった。

●職種別では次の2職種で半数以上

- 研究・開発（民間・官・学） 33.2% (25.5%)
- 分析・試験・検査・測定 24.8% (18.2%)

4. 分析機器・科学機器について今イチオシの情報が集まる手軽なツールとして人気。

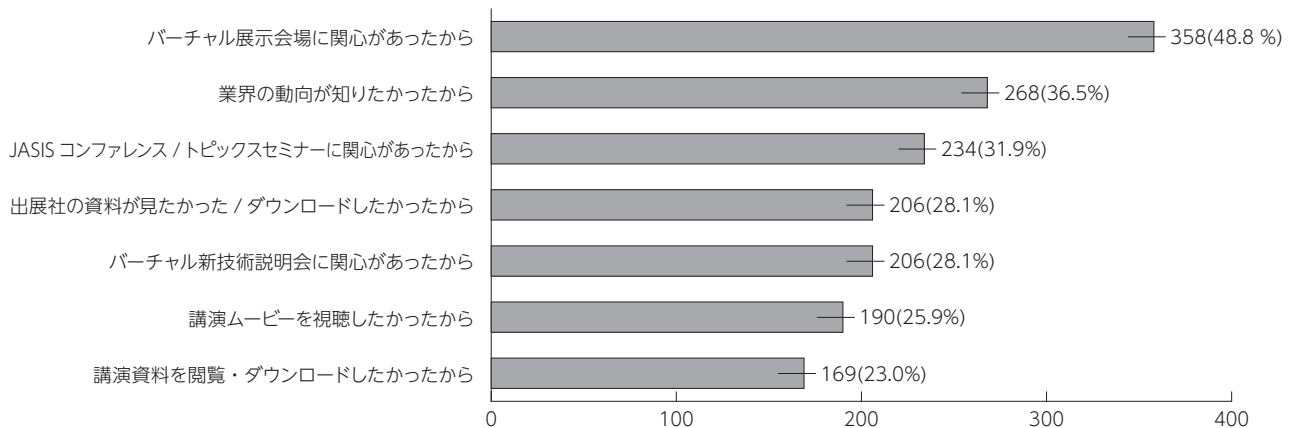
掲載会社が入手した閲覧者情報は、1社平均1,000人以上で過去最多。

会期はリアル展示会前後約2ヶ月間の計5～6ヶ月程としている。前回2022年は、7月から翌2023年2月のJASIS関西終了1ヶ月後まで連続運用したため、特例的に過去最長の8.5か月間開催したが、2023年は通常の5ヶ月間の開催とした。掲載会社数は、2020年～2022年のコロナ禍では延べ113社(2020年)を記録したが、コロナ禍後の2023年は出展社においてリアル展回帰傾向が顕著となり、延べ42社(以下リスト参照)と減った。

会期短縮、掲載会社数ともに減じたにもかかわらず、閲覧者数は過去最多の11,950人(重複無し)を記録し、コロナ禍が明けても人気は劣らなかった。以下の来場者アンケートで、来場された理由をお聞きした結果、展示会場に関心があり、業界動向を知るためにログインしていることが読み取れる。

WebExpoでは、自社コンテンツの閲覧者情報を出展社が取得する仕組みであり、2023年は1社あたり600人～2,400人台(1社平均1,280人)の来場者情報を取得した(いずれも重複無し)。

「JASIS WebExpo® 2023」に来場された理由をお聞かせください。(複数回答可) N=734



5. 掲載出展社一覧

バーチャルブース出展社 (29 社)		
アルファ・モス・ジャパン	エスベック	エムエス機器
大阪ソーダ	オックスフォード・インストゥルメンツ	カールツァイス
京都電子工業	ジーエルサイエンス	システムプラス
島津製作所	セミテック	タナカ・トレーディング
ダルトン	東亜ディーケーケー	東ソー
富山産業	日本ウォーターズ	日本電子
日本分光	ビーエルテック	日立ハイテック
ブルカー・ジャパン	堀場製作所、堀場アドバンスドテクノ、堀場エステック、堀場テクノサービス	マルバーン・パナリティカル (スペクトリス)
三重県環境保全事業団	リガク	理研計器
LECO ジャパン	ワイエムシィ	
新技術説明会出展社 (12 社)		
アントンパール・ジャパン	エイビス	エドワーズ
大阪ソーダ	オルガノ	化学物質評価研究機構
ゲルハルト・ジャパン	ティー・エイ・インストゥルメント・ジャパン	ビーエルテック
LECO ジャパン	Restek	ワイエムシィ
コンファレンス出展団体 (1 団体)		
表面分析研究会		

6. WebExpo で掲載した主催者講演ムービー

主催者コンテンツとして、JASIS 2022、JASIS 2023、JASIS 関西 2023 で実施したトピックスセミナー等計 99 本を掲載した。なお、JASIS コンファレンスは、2020 年以降 COVID-19 の影響でリアル企画の実施を全面的に見送り、WebExpo のみ実施し、下表とは別途、表面分析研究会にコンテンツを掲載いただいた。

通期掲載セミナー

テーマ	講演タイトル	講師	実施会場
ライフサイエンス (コンファレンス)	mRNA 医薬の最前線	モデルナ・ジャパン 代表取締役社長 鈴木 蘭美氏	関西 2023
	未踏ライフサイエンスを新たに共創する東北大学サイエンスパーク構想	東北大学・多元物質科学研究所 研究経営戦略室・首席 URA/ 特任教授 根本 靖久氏	関西 2023
	空間生体情報メタオミックス解析と呼気医療	東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野 教授 赤池 孝章氏	関西 2023
	日本薬局方に関する最近の話題	国立医薬品食品衛生研究所 所長 合田 幸広氏	関西 2023
	日本の臨床工学技術を活用した医療機器管理教育システムの開発	(株) Redge CEO 稲垣 大輔氏	JASIS 2022
	救急医療業務プラットフォームのデータ活用サービス	TXP Medical (株) 取締役 COO 恩田 淳氏	JASIS 2022
	自家組織をとらない移植手術をめざして：脱細胞化生体組織を用いた膝前十字靭帯再建用の人工靭帯の開発	CoreTissue BioEngineering (株) 代表取締役会長 城倉 洋二氏	JASIS 2022
	高速イメージング技術による細胞解析イノベーション	(株) CYBO 代表取締役 新田 尚氏	JASIS 2022
	薬剤耐性菌発生低減へのチャレンジ ～菌種推定 AI と抗菌薬適正使用支援システムならびに自動グラム染色装置のご紹介～	カーブジェン (株) データサイエンス本部 エンジニア 安間 俊輔氏	JASIS 2022
	ワイヤレス給電およびクローズドループを活用した植込み型神経刺激装置の開発	(株) INOPASE CEO 杉本 宗優氏	JASIS 2022
	日本生物工学会の 100 年 - 分析・計測との深い関係	広島大学 大学院 統合生命科学研究所 教授 中島田 豊氏	JASIS 2022
	2030 年連続生産システム『iFactory』実装へのロードマップ・第 3 フェーズ	コニカミノルタケミカル (株) 生産統括部 営業技術部付 兼 生産力強化推進部 主任 小野 悦史氏	JASIS 2022
	産学連携を基盤に未来を創るバイオ計測開発	早稲田大学 理工学術院 教授 竹山 春子氏	JASIS 2022
	次世代型バイオ分析により様々な微生物を活用する生物工学の未来	神戸大学 先端バイオ工学研究センター センター長 / 教授 蓮沼 誠久氏	JASIS 2022
	地域食材の機能性及び活用 - 機器分析を生かした鹿児島ブランド「黒」食材の研究開発	鹿児島大学 農学部 食品分子機能学研究室 教授 侯 徳興氏	JASIS 2022
	杜氏の勤と経験をデジタルトランスフォーメーションする方法	(独) 酒類総合研究所 岩下 和裕氏	JASIS 2022
日本薬局方セミナー「日本薬局方に関する最近の話題」	国立医薬品食品衛生研究所 所長 合田 幸広氏	JASIS 2022	
製薬プロセスのデジタル設計と運転支援～データを意思決定につなげる～	東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻 教授 杉山 弘和氏	JASIS 2022	

テーマ	講演タイトル	講師	実施会場
アプリケーション	未踏分析技術イノベーションウェビナー～日本発未踏技術を世界の産業活性にテイクオフさせる必見企画～	東北大学多元物質科学研究所 研究経営戦略室 特任教授 / 首席 URA 根本靖久氏 / 東北大学多元物質科学研究所 所長 電子回折・分光計測研究分野 教授 寺内正己氏 / 東北大学多元物質科学研究所 生物分子機能計測研究分野 教授 米倉功治氏 / 東北大学多元物質科学研究所 高分子物理化学研究分野 教授 陣内浩司氏	JASIS 2022
教育	測定の不確かさ入門	(国研) 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 主任研究員 城野 克広 氏	JASIS 2022
	機器分析における測定値の信頼性	明星大学 大学院 理工学部研究科 教授 上本道久 氏	JASIS 2022
カーボンニュートラル	低炭素社会実現に向けた水素エネルギーシステムの貢献可能性	(一財) エネルギー総合工学研究所 研究顧問 / 水素エネルギー協会 前会長 坂田 興 氏	関西 2023
	カーボンニュートラル電力システム	東海国立大学機構岐阜大学高等研究院 特任教授 / 電力中央研究所 研究アドバイザー / 東京工業大学科学技術創成研究院 特任教授 浅野浩志 氏	関西 2023
	固体電解質における粒界構造解析およびリチウムイオン伝導測定	東京大学 大学院 特任研究員 佐々野 駿 氏	関西 2023
	リチウムイオン電池リサイクルの課題と開発動向	産業技術総合研究所 主任研究員 大石 哲雄 氏	関西 2023
	リチウムイオン電池の評価・解析	JFE テクノリサーチ(株) 機能材料ソリューション本部 副本部長 取締役 島内 優 氏	JASIS 2022
	カーボンニュートラルエネルギーシステムへのトランジション	東海国立大学機構岐阜大学高等研究院 特任教授 / (一財) 電力中央研究所 アドバイザー / 東京工業大学科学技術創成研究院 特任教授 浅野浩志 氏	JASIS 2022
	汎用リチウム二次電池の性能評価 / 超高速への挑戦	エンネット(株) 代表取締役社長 小山 昇 氏	JASIS 2022
	二酸化炭素の化学的変換によるカーボネート合成	東京理科大学 工学部 工業化学科 助教 本田正義 氏	JASIS 2022
	低炭素社会実現に向けた水素エネルギーシステムの最新動向	エネルギー総合工学研究所 研究顧問 坂田 興 氏	JASIS 2022
環境	大阪湾、播磨灘の水環境に関する調査研究における分析機器の活用	ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター 水環境科 主席研究員兼研究主幹(水質環境担当) 宮崎 一 氏	関西 2023
	瀬戸内の堆積物と生物相にみる残留性有機汚染物質 (POPs) の歴史と課題	愛媛大学大学院 農学研究科・教授 高橋 真 氏	関西 2023
	バイオプラスチックの概要とカネカ生分解性バイオポリマー Green Planet の開発	(株) カネカ Global Open Innovation 企画部 福田 竜司 氏	JASIS 2022
	マイクロプラスチックおよびナノプラスチックの化学分析 ～課題、先進的手法と展望～	Institute of Hydrochemistry (IWC), Chair of Analytical Chemistry and Water Chemistry, Technical University of Munich (TUM) / Head of Raman & SEM Group, Lecturer PD Dr. Natalia P. Ivleva 氏	JASIS 2022
	マイクロプラスチックの計測手法の世界動向	(国研) 産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 環境創生研究部門 研究部門長 鳥村 政基 氏	JASIS 2022
	海洋マイクロプラスチック汚染に対する環境省の取組み	環境省 水・大気環境局 水環境課 海洋プラスチック汚染対策室 環境専門調査員 岡原 史明 氏	JASIS 2022

テーマ	講演タイトル	講師	実施会場
環境	プラスチック資源の有効利用と化学物質管理のはざままで	(国研) 国立環境研究所 資源循環領域 試験評価・適正管理研究室 主幹研究員 梶原 夏子氏	JASIS 2022
	世界に広がる化学物質規制の最新動向～フッ素・難燃剤を中心に～	AGC (株) 化学品カンパニー CSR 室 CSR 企画グループ マネジャー 池田 理夫 氏 / (一社) 日本分析機器工業会 環境委員会委員長 中井 章仁 氏 / (一財) 化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所 評価事業部 評価第二課 福島 麻子 氏 / 経済産業省 製造産業局 化学物質管理課 / 経済産業省 産業機械課	JASIS 2022
DX	OPC UA を活用した製造業 DX ソリューション	日本 OPC 協議会技術部会 (たけびし) 技術部会 会員 川畑 遼 氏	関西 2023
	製造業のデジタル化をドライブする相互運用基盤 OPC UA	日本 OPC 協議会 マーケティング部会 岡 実 氏	関西 2023
	ラボの将来像 (Use Cases) を支える Laboratory and Analytical Device Standard (LADS) OPC UA	日本分析機器工業会 技術委員会 調査小委員会 LabDX WG 主査 石隈 徹 氏	関西 2023
	正確な測定だけではない、品質管理業務の高度化を支えるラボのデータとその活用	横河電機 (株) ライフ事業本部 営業・ソリューションセンター 藤沢 尚人 氏	JASIS 2022
	ラボのワークフロー高効率運用に向けたシステム技術	ヤマト科学 (株) アドバンステクノロジーカンパニー 顧問 土屋 正年 氏 ラボ・デザインシステムズ (株) 取締役 松村 勝弘 氏 (株) デンソーウェア ソリューション事業部 FA システムエンジニアリング部 部長 澤田 洋祐 氏 (一社) 日本分析機器工業会 技術委員会 調査小委員会 LabDX WG 主査 石隈 徹 氏	JASIS 2022
LabDX	JASIS Square LabDX Demonstration 【動画・資料】	(一社) 日本分析機器工業会 技術委員会 調査小委員会 LabDX WG 主査 石隈 徹 氏	JASIS 2022
	Laboratory Digital Transformation “LabDX” に向けた日本分析機器工業会 (JAIMA) の活動	(一社) 日本分析機器工業会 技術委員会 委員長 杉沢 寿志 氏	JASIS 2022
	JASIS Square LabDX Demonstration		JASIS 2022
	LADS OPC-UA : 研究・分析機器のための「共通言語」	SPECTARIS LADS OPC UA ジョイントワーキンググループ 技術リーダー Dr. Matthias Arnold 氏	JASIS 2022

JASIS 2023 掲載セミナー (2023 年 9 月 28 日～ 11 月 30 日)

テーマ	講演タイトル	講師	実施会場
先端材料	CO ₂ 分離膜の概観	山口大学/大学院創成科学研究科 名誉教授 / 学術研究員 喜多 英敏 氏	JASIS 2023
	エネルギー産業の現状と今後の課題	日本エネルギー経済研究所/電力・新エネルギーユニット 担任補佐 研究理事 小笠原 潤一 氏	JASIS 2023
	「しなやかなタフポリマー」が素材の可能性を拓く	東レ/化成成品研究所 研究主幹 小林 定之 氏	JASIS 2023
	サーキュラーエコノミーに貢献する環動高分子	東京大学/大学院新領域創成科学研究科 教授 伊藤 耕三 氏	JASIS 2023
	プラスチックリサイクルにおける機器分析の役割	東北大学/大学院環境科学研究科 助教 熊谷 将吾 氏	JASIS 2023
	プラスチックリサイクルからみる炭素循環	東北大学/大学院環境科学研究科 教授 吉岡 敏明 氏	JASIS 2023
ライフサイエンス (コンファレンス)	生命科学研究を加速する未踏分析技術へのグローバルな挑戦 はじめに - 生物工学研究における分析機器の重要性	広島大学/大学院統合生命科学研究科 教授 中島田 豊 氏	JASIS 2023
	DNA 解析技術の開発—DNA シーケンサから 1 細胞および組織解析へ—	フロンティアバイオシステムズ 代表取締役 日立製作所 名誉フェロー 神原 秀記 氏	JASIS 2023
	Undruggable な分子標的を druggable にする PROTAC 創薬研究の展望	東北大学/大学院薬学研究科 教授 岩淵 好治 氏	JASIS 2023
	未踏計測科学が切り開く未来型創薬の展望	東北テクノアーチ (TLO) / 社長補佐・産学連携アドバイザー 根本 靖久 氏	JASIS 2023
	標的タンパク質分解誘導による医薬品パイプライン充実化	アステラス製薬/プロテインデグラーター部門長 早川 昌彦 氏	JASIS 2023
	高活性触媒的標的 RNA 切断機能付与型人工核酸医薬による新時代核酸医薬の展望	東北大学/多元物質科学研究所 有機・生命科学研究所部門主任 教授 和田 健彦 氏	JASIS 2023
	メタボロミクスデータを処理し、仮説を導出するには	大阪大学/大学院情報科学研究科 教授 松田 史生 氏	JASIS 2023
	代謝物分析の高度化に向けた超臨界流体抽出・クロマトグラフィー装置の開発	九州大学/生体防御医学研究所 教授 馬場 健史 氏	JASIS 2023
	「ヒトゲノム計画から 30 年、医学・生命科学・バイオテクノロジーの大変革」	東京大学/名誉教授 榊 佳之 氏	JASIS 2023
	新規参考情報「せん断セル法による粉体の流動性測定法< G2-5-181 >」について	星薬科大学/薬学部 教授 米持 悦生 氏	JASIS 2023
食品	よりおいしいご飯を食卓へ「米の食味とその評価」	新潟薬科大学/応用生命科学部 特任教授 大坪 研一 氏	JASIS 2023
	炊飯米評価に関する分析及び、業態別の提案について	伊藤忠食糧/米穀本部米穀サポートチーム 安藤 美紀子 氏	JASIS 2023
教育	機器分析における測定値の信頼性	明星大学/大学院理工学研究科 教授 上本 道久 氏	JASIS 2023
	自信の持てる溶液調製—何をどのように溶解するか—	宇都宮大学/工学部 教授 上原 伸夫 氏	JASIS 2023
環境	世界に広がる化学物質規制の最新動向「ストックホルム条約最新情報」	経済産業省/製造産業局 化学物質管理課 入間 川 伸一 氏	JASIS 2023

テーマ	講演タイトル	講師	実施会場
環境	海外における PFAS 規制動向	三井・ケマーズ フロプロダクツ/経営企画室 石川 淳一 氏	JASIS 2023
	マイクロプラスチックと人間：暴露の証明と危険の仮説	マルケ工科大学 生命環境科学部 研究員 (イタリア・アンコーナ市) Dr. Valentina Notarstefano 氏	JASIS 2023
	海洋における生分解性プラスチック試験とアンダマン海・タイ湾の海岸砂に含まれるマイクロプラスチックの定量化	タイ科学技術研究所 (TISTR) 材料生分解試験室長 Dr. Anchana Pattanasupong 氏	JASIS 2023
	大気中マイクロプラスチックの実態解明と健康影響	早稲田大学/創造理工学部 大河内 博 氏	JASIS 2023
	欧州環境規制の動向 (REACH/RoHS/ エコデザインを中心に)	在欧日系ビジネス協議会/ Policy Manager 三浦 哲三郎 氏	JASIS 2023
	ヘリウム供給不足と環境分析	国立環境研究所/企画部 フェロー 鈴木 規之 氏	JASIS 2023
環境	重金属のリスク評価における安定同位体比分析の役割	東洋大学/生命科学部 教授 吉永 淳 氏	JASIS 2023
	ベトナム・ハノイの都市部微小粒子状物質における AhR アゴニストの毒性同定と評価	ベトナム国家大学 ハノイ自然科学校 教授 Professor Le Huu Tuyen 氏	JASIS 2023
	大気中ナノ粒子の特性及びその健康リスク	金沢大学 /理工研究域 地球社会基盤学系 特任教授, 金沢大学 名誉教授 古内 正美 氏	JASIS 2023
	使用済みプラスチック再資源化に向けた企業連携活動	アールプラスジャパン/代表取締役社長 横井 恒彦 氏	JASIS 2023
	ヘリウムの世界需給と日本の調達見通し	ガスレビュー/代表取締役社長 小泉 善樹 氏	JASIS 2023
DX	ロボットと AI が実現する研究の自動化・遠隔化	ロボティック・バイオロジー・インスティテュート/取締役 夏目 徹 氏	JASIS 2023
	LADS OPC-UA : 研究・分析機器のための「共通言語」	SPECTARIS LADS OPC UA ジョイントワーキンググループ 最高技術責任者 Dr. Matthias Arnold 氏	JASIS 2023
	デジタル化と自動化による研究開発加速に向けた取り組み	三菱ケミカル/ Science & Innovation Center, Materials Design Laboratory 主任 研究員 田邊 祐介 氏	JASIS 2023

JASIS 2023 結果報告書

2023年 12月

JASIS 事務局

一般社団法人日本分析機器工業会内

東京都千代田区神田錦町 2 丁目 5-16 名古屋ビル新館 6 階

TEL : 03 (3292) 0642 FAX : 03 (3292) 7157

URL : <https://www.jasis.jp>

次回開催

未来発見。

『測る』が支える
未来の社会

入場
無料

JASIS
Japan Analytical & Scientific Instruments Show
2024

最先端科学・分析システム
& ソリューション展

2024年

9/4 水 → 6 金

AM10:00 - PM5:00

併催(予定) : 新技術説明会
JASISTピックスセミナー
JASISスクエア

Web企画(予定) : JASIS WebExpo®

主催 :  一般社団法人 日本分析機器工業会  一般社団法人 日本科学機器協会

後援 : 経済産業省/文部科学省/公益社団法人日本分析化学会/米国大使館 商務部 他(予定)

幕張メッセ国際展示場

<https://www.jasis.jp>

